# 伊万里保健福祉事務所 保健・福祉・衛生情報

令和3(2021)年度運営の概要

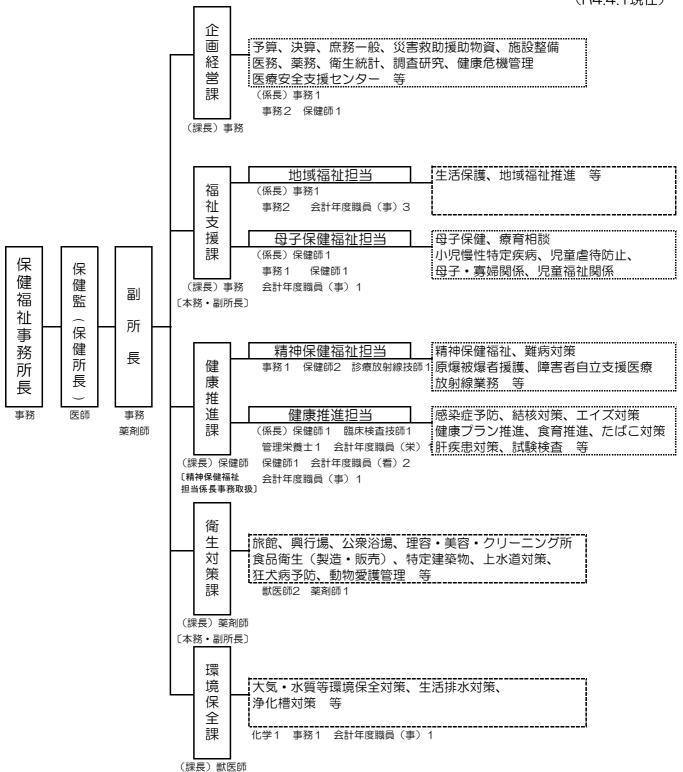


# 目 次

0	組織・機構1
1	人口・面積・世帯の状況2
2	衛生統計3
3	医務•薬務7
4	健康危機管理対策12
5	地域福祉13
6	母子保健福祉14
7	精神保健福祉19
8	難病対策21
9	原爆被爆者対策22
10	栄養・健康づくり対策23
11	歯科保健28
12	肝疾患対策29
13	感染症対策30
14	環境衛生37
15	食品衛生 38
16	狂犬病予防・動物愛護41
17	環境保全42
18	その他45
0	<b>資料編</b> ·母子保健統計47 (出生率、低体重児出生率、乳児死亡率、新生児死亡率、周産期死亡率)
	·主要死因別標準化死亡比(SMR)50 (悪性新生物、結核、糖尿病、高血圧性疾患、心疾患、脳血管疾患、肺炎 肝疾患、交通事故、自殺)

#### 伊万里保健福祉事務所の組織・機構

(R4.4.1現在)



職員(職種、人数) (会計年度職員・臨任等含む)

医師1、保健師8、管理栄養士2、薬剤師2、獣医師3、診療放射線技師1、臨床検査技師1、 化学1、事務職員等21 <u>合計 40 人</u>

# 1 管内の人口・面積・世帯の状況

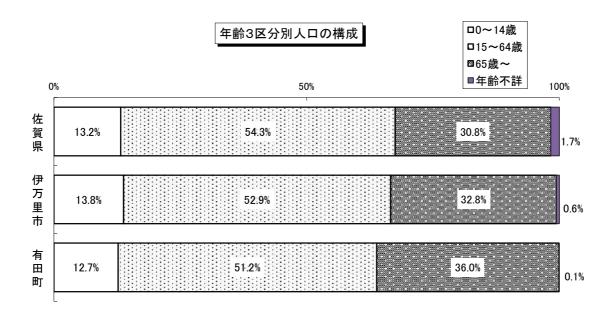
#### ●管内の状況

令和3年10月1日現在

				推	計 人	П			, I	
市町	面 積 (k㎡)	<b>シンン ※</b> /-	性	別	3	区分別	IJ	高齢化	人口 密度 (人/k㎡)	世帯数 (世帯)
		総数	男	女	0~14	15~64	65~	率(%)	()\/KIII)	
県 計	2,440.69	805,721	381,993	423,728	106,625	437,452	248,083	30.8%	330.1	314,731
管内計	321.10	70,803	33,861	36,942	9,554	37,122	23,810	33.6%	220.5	27,057
伊万里市	255.25	52,020	25,171	26,849	7,166	27,510	17,046	32.8%	203.8	20,038
有田町	65.85	18,783	8,690	10,093	2,388	9,612	6,764	36.0%	285.2	7,019

資料 県統計調査課 推計人口(人口主要指標)

- 注) 1. 総数・男・女には年齢不詳を含む。
  - 2. 面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(令和3年10月1日現在)」による。



# 2 衛生統計

# (1)伊万里保健福祉事務所管内市町人口の年次推移

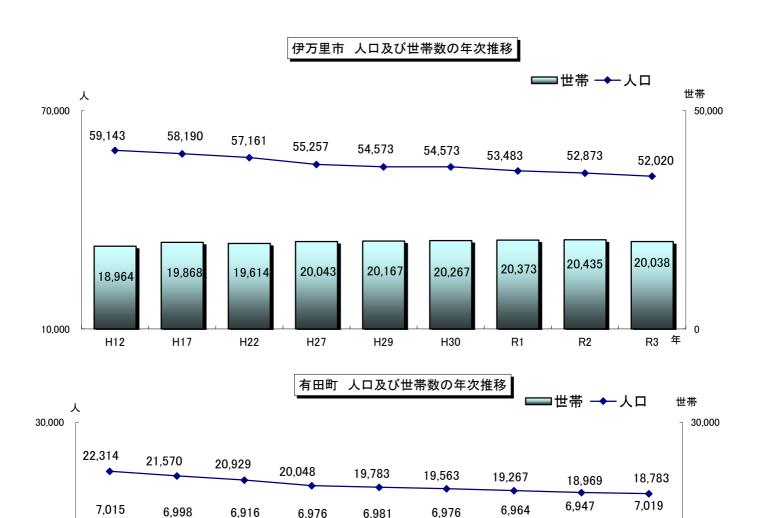
年 次	*平成12年	*平成17年	*平成22年	*平成27年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
西曆	2000年	2005年	2010年	2015年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
県	876,654	866,369	849,788	832,832	823,620	819,110	814,211	808,821	805,721
管 内	81,457	79,760	78,090	75,386	74,356	73,518	72,750	71,842	70,803
伊万里市	59,143	58,190	57,161	55,238	54,573	53,955	53,483	52,873	52,020
有田町	22,314	21,570	20,929	20,148	19,783	19,563	19,267	18,969	18,783

資料 県統計調査課推計人口(各年10月1日現在)

10,000

H12

H17



6,981

H29

6,976

H27

6,976

H30

R1

R3

R2

6,916

H22

<sup>\*</sup> は国勢調査結果による。

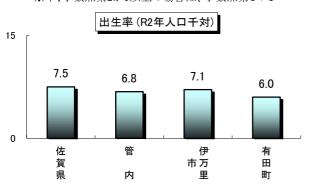
### (2)伊万里保健福祉事務所管内市町別人口動態

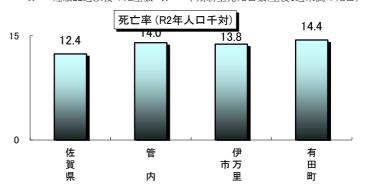
令和2年(単位:人・%)

	人口	出生	数	(再 2500g 出生	未満	死亡	数	乳	:揭) .児 二数	(再 新生 死I	E児		死產	5数		唐	産期3	<b></b> 化亡数	ţ	婚姻任	件数	離婚件	‡数
市町名	(R2年 10月1日 現在の日本 人人口)	実数	(人口千対)	実数	(出生百対)	総数	(人口千対)	総数	(出生千対)	総数	(出生千対)	総数	(出産千対)	自然死産数	人工死産数	総数	(出産千対)	☆ 枠外参照	★ 枠外参照	総数	(人口千対)	総数	(人口千対)
佐 賀 県	808,821	6,004	7.5	546	9.1	9,963	12.4	11	1.8	6	1.0	116	19.0	72	44	25	4.2	20	5	3,031	3.8	1,235	1.53
管 内	71,842	484	6.8	60	12.4	993	14.0	1	2.1	1	2.1	22	43.5	17	5	4	8.2	3	1	262	3.7	125	1.76
伊万里市	52,873	371	7.1	42	11.3	722	13.8	1	2.7	1	2.7	18	46.3	15	3	3	8.0	2	1	202	3.9	95	1.82
有田町	18,969	113	6.0	18	15.9	271	14.4	0	0.0	0	0.0	4	34.2	2	2	1	8.8	1	0	60	3.2	30	1.59

※率;小数点第2が1以上の場合は、小数点第1+1

☆ … 妊娠22週以後の死産数 ★ … 早期新生児死亡数(生後1週未満の死亡)





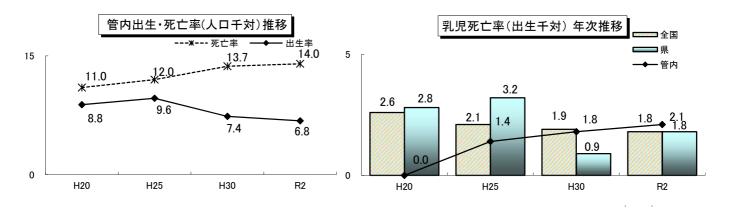
### (3)伊万里保健福祉事務所管内人口動態の推移

(単位:人・%)

		出生	数	25008	掲) 3未満 E数	死亡	数	乳	·揭) 児 二数	新生	·揭) 生児 二数		死產	<b>を数</b>		周	(再排 産期3		数	婚姻付	牛数	離婚	件数
	管内人口 (日本人 人口)	実数	(人口千対)	実数	(出生百対)	総数	(人口千対)	総数	(出生千対)	総数	(出生千対)	総数	(出産千対)	自然死産数	人 <sub>口</sub> 死産 数	総数	(出産千対)	☆ 枠外参照	★ 枠外参照	総数	(人口千対)	総数	(人口千対)
平成20年	78,054	689	8.8	62	9.0	859	11.0	0	0.0	0	0.0	18	25.5	10	8	4	5.8	4	0	400	5.1	143	1.83
平成25年	76,193	735	9.6	68	9.3	915	12.0	1	1.4	0	0.0	10	13.4	3	7	1	1.4	1	0	358	4.7	135	1.77
平成30年	73,518	541	7.4	55	10.2	1,001	13.7	1	1.8	0	0.0	18	32.2	8	10	1	1.8	1	0	261	3.6	125	1.72
令和2年	71,842	484	6.8	60	12.4	993	14.0	1	2.1	1	2.1	22	43.5	17	5	4	8.2	3	1	262	3.7	125	1.76

<sup>(2)、(3)~</sup> 資料 県医務課 保健統計年報(人口動態統計編) ☆…妊娠22週以後の死産数

\* 母子保健関係統計の詳細は、資料編参照



<sup>★…</sup>早期新生児死亡数(生後1週未満の死亡)

#### (4)①伊万里保健福祉事務所管内 主な死因の死亡数

令和2年(単位:人)

																		13/11		(T)	<u> </u>
		to W				悪	性親	f 生	物				高血圧性	心疾患	脳血管	n la de	41.14.	lete III ete	-14-1-4	不慮の	± vn
		総数	総数	食道	胃	大腸	肝臓	膵	肺	乳房	子宮	白血病	疾患	(高血圧性 除く)	疾患	肺炎	結核	糖尿病	老衰	事故	自殺
全	玉	1,372,755	378,385	10,981	42,319	51,788	24,839	37,677	75,585	14,779	6,808	8,983	10,003	205,596	102,978	78,450	1,909	13,902	132,440	38,133	20,243
佐	賀県	9,963	2,689	62	280	357	242	237	542	95	43	82	85	1,488	687	711	14	95	881	301	108
管	内	993	265	10	32	39	19	19	52	9	5	9	5	163	79	63	1	18	75	33	7
伊	万里市	722	189	6	23	33	13	14	35	8	1	4	5	103	67	42	1	14	60	22	6
有	田町	271	76	4	9	6	6	5	17	1	4	5	0	60	12	21	0	4	15	11	1

資料 県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

注)1 大腸とは結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

### ②伊万里保健福祉事務所管内 主な死因の死亡率(人口10万対)

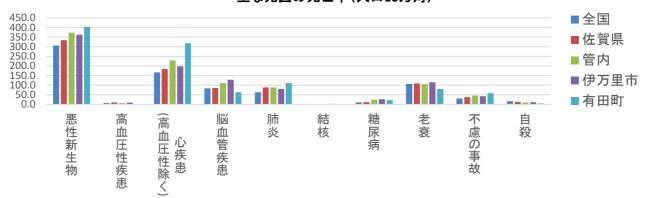
令和2年

																		17 17		
	総数				悪	性親	f 生	物				高血圧性	心疾患 (高血圧性	脳血管	0+·/c	結核	糖尿病	老衰	不慮の	ή XII.
	柁 剱	総数	食道	胃	大腸	肝臓	膵	肺	乳房	子宮	白血病	疾患	除く)	疾患	肺炎	稻核	相水剂	七茲	事故	自殺
全 国	1,112.5	306.6	8.9	34.3	41.9	20.1	30.5	61.3	12.0	10.7	7.3	8.1	166.6	83.5	63.6	1.5	11.3	107.3	30.9	16.4
佐 賀 県	1,237.8	334.1	7.7	34.8	44.4	30.1	29.4	67.3	11.8	10.2	10.2	10.6	184.9	85.4	88.3	1.7	11.8	109.5	37.4	13.4
管 内	1,397.7	373.0	14.1	45.0	54.9	26.7	26.7	73.2	12.7	13.4	12.7	7.0	229.4	111.2	88.7	1.4	25.3	105.6	46.5	9.9
伊万里市	1,383.7	362.2	11.5	44.1	63.2	24.9	26.8	67.1	15.3	3.7	7.7	9.6	197.4	128.4	80.5	1.9	26.8	115.0	42.2	11.5
有田町	1,436.4	402.8	21.2	47.7	31.8	31.8	26.5	90.1	5.3	39.4	26.5	0.0	318.0	63.6	111.3	0.0	21.2	79.5	58.3	5.3

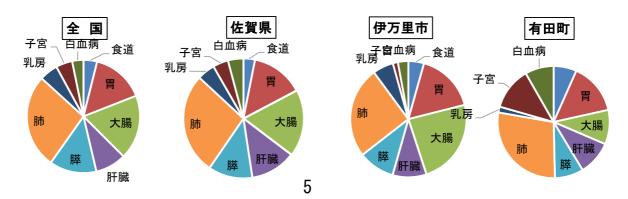
資料 県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

- 注) 1. 悪性新生物「子宮」死亡率は、女子10万対の率である。
- \*主な死因の標準化死亡比(SMR)については、「資料編」参照

#### 主な死因の死亡率(人口10万対)



悪性新生物 部位別(人口10万対)



# (5)合計特殊出生率

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33
佐 賀 県	1.61	1.59	1.63	1.64	1.63	1.64	1.64	1.64	1.61
管 内	1.95	2.01	1.99	1.97	1.89	1.91	1.63	1.66	1.74
伊万里市	2.01	2.11	2.09	2.04	1.99	2.02	1.91	1.86	1.80
有 田 町	1.80	1.74	1.68	1.65	1.63	1.66	1.29	1.56	1.60

資料 全国值、県值~県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

管内•伊万里市•有田町值~伊万里保健福祉事務所算出

- \* 合計特殊出生率は「15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出 生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。〈 A 「期間」合計特殊出生率, B 「コーホート」合計特殊出生率 〉
- \* A 「期間」合計特殊出生率~ ある期間(1年間)の出生状況に着目したもので、その年における各年齢(15~49歳)の女性の出生率を合計したもの。女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。〈厚生労働省H.P「人口動態統計」より〉

## (6)母の年齢(5歳階級)別出生数

令和2年

	15歳未満	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50歳以上
全 国	37	6,911	66,751	217,804	303,436	196,321	47,899	1,624	52
佐 賀 県	0	65	633	1,664	2,110	1,284	245	3	0
管 内	0	8	46	141	153	111	25	0	0
伊万里市	0	7	35	108	118	84	19	0	0
有 田 町	0	1	11	33	35	27	6	0	0

資料 全国値~e-stat政府統計の総合窓口(人口動態統計)

県、管内、伊万里市、有田町値~県医務課 保健統計年報(人口動態統計編)

# 3 医務•薬務

# (1) 施設数 人口10万对施設数

令和2年10月1日現在

			疖	院			一般記	<b>診療所</b>		歯科語	診療所		)万人対	施設数
	市町	総数	精神 科病 院	一般病院	療養等を有病場(再掲)	総数	有床	療養病 床をる 療所 (再掲)	無床	総数	有床 (再掲)	病院	一般療所	歯科 診療
全	国	8,238	1,059	7,179	3,554	102,612	6,303	699	96,309	67,874	21	6.5	81.0	53.6
佐	賀県	100	14	86	53	691	142	30	549	409	-	12.4	85.4	50.6
管	内	10	2	8	7	58	12	5	46	32	1	13.9	80.7	44.5
伊	万里市	9	2	7	7	40	11	5	29	25	_	17.0	75.7	47.3
有	田町	1	-	1	-	18	1	-	17	7	-	5.3	94.9	36.9

資料「令和2年医療施設(動態)調査」

# (2) 市町別医療機関病床数

令和2年10月1日現在(単位:床)

				病	院病	床				一般診療原	所 末	歯科記 病	診療所 床	病院• 病	診療所 床
	市	病	人	精	感	結	療	_	病	人	う	病	人	病	人
	町	床	口 10 病床数	神	染 症	核	養	般	床	10 病床数	ち 療	床	10 病床数	床	口 10 万人当た
	名	総	外数と	病	病	病	病	病	総	外数と	養 病	総	外数と	総	小数 大当 た
		数	ŋ	床	床	床	床	床	数	り	床	数	ŋ	数	り
全	玉	1,507,526	1,190.0	324,481	1,904	4,107	289,114	887,920	86,046	68	6,936	61	0.0	<b>※</b> 1,593,633	1,259.0
佐	賀県	14,451	1,787	4,161	24	30	3,913	6,323	2,083	272	303	0	0.0	<b>*</b> 6,534	2,044
管	内	1,244	1,732	330	4	0	438	472	176	245	54	0	0.0	1,420	1,977
伊	万里市	1,038	1,963	330	0	0	438	270	164	310	54	0	0.0	1,202	2,273
有	田町	206	,		4	0	0	202	12	63	0	0	0.0	218	1,149

資料「令和2年医療施設(動態)調査」

<sup>※</sup> 全国及び佐賀県の病院・診療所病床総数には、歯科診療所病床が含まれるため、病院病床総数・一般診療所病床数の合計に一致しない。

注)平成13年3月の「医療法等の一部を改正する法律」の施行により、「その他の病床」(療養型病床群を含む)は「療養病床」及び「一般病床」に区分 され、経過措置期間満了後の平成15年9月から病床の種別は「精神病床」、「感染症病床」、「結核病床」、「療養病床」及び「一般病床」に改められた。

# (3)基準病床数と既存病床数の比較

(令和3年度末現在)

病床種別	区域	基準病床数		既存病床数	
療養病床及び	西部保健医療圈	725	一般病床	療養病床	計
一般病床	四种体质区源图	123	530	444	974
精神病床	県全域	3,388		(管内 330)	)
感染症病床	県全域	24		(管内 4)	
結核病床	県全域	30		(管内 0)	

資料 基準病床数は「令和元年4月佐賀県保健医療計画」

※ 既存病床数は令和4年3月31日現在「令和3年度医療施設(動向)調査」

### (4)薬局及び医薬品販売業者数

(令和3年10月1日現在)

								( la l HO   TO	
		<del>-11:</del>	医薬品販売業				⇒ı	高度管理医	
市	町 名 薬 /		薬 局	店 舗 販売業	薬種商 販売業	特 例 販売業	卸 売 販売業	計	療機器販売 業・貸与業
佐	賀	県	506	198	2	3	98	807	498
管		内	35	16	0	0	3	54	32
伊	万 里	市	26	12	0	0	3	41	22
有	田	町	9	4	0	0	0	13	10

資料提供:薬務課

# (5)市町別献血者数

令和3年度(単位:人)

市	町	名	人口	200ml 献血者数	400ml 献血者数	成 分 献血者数	合 計	献血率(%)
佐	賀	県	808,821	644	19,250	12,933	32,827	4.1%
管		内	71,842	52	1,293	735	2,080	2.5%
伊	万 里	市	52,873	33	926	457	1,416	2.7%
有	田	町	18,969	19	367	278	664	3.5%

資料 2021年度市町献血者数(佐賀県赤十字血液センター作成)

人口: 県統計分析課推計人口(令和3年10月1日現在)

# (6) 医療従事者数

(人)

							()()
区分	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
佐賀県	2,445	617	1,952	511	256	11,389	4,299
管内	116	36	110	46	11	796	484
伊万里市	84	27	82	33	9	550	414
有田町	32	9	28	13	2	246	70

資料 <sup>※</sup>「医師・歯科医師・薬剤師調査」: 令和2年12月31日現在 ※隔年調査 資料 保健師・助産師・看護師「衛生行政報告例」: 令和2年12月31日現在

# (7) 医療機関立入検査関係

(令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、病院は書面検査を実施。診療所のみ立入検査を実

○調査施設数 (令和3年度)

病 院	診 療 所	計
0	10	10

# ○主な指摘事項

\*医療安全管理関係 1件

\*放射線管理関係 2件

#### ○主な指導事項

\*医療安全管理関係 6件

\*院内感染対策関係 3件

# (8) 医療従事者各種免許事務

令和3年度(単位:件)

						_			_			1. 1	1 /2 (	
区分	医師	歯科 医師	保健師	助産師	看護師	理学 療法士	視能 訓練士	作業 療法士	診療 放射線 技師	臨床 検査 技師	衛生 検査 技師	薬剤師	准看 護師	合計
新規	2	1	3	0	49	10	0	4	3	0	0	7	26	105
書換え	. 1	0	0	1	28	1	0	0	0	2	0	2	7	42
再交付	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	5
抹消	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	3	1	79	11	0	4	3	2	0	10	35	152

#### (9) 医療安全支援センター事業

医療機関に関する患者・家族等の苦情や相談に対応し、医療機関への情報提供、指導等を実施する体制の整備により医療の安全と信頼を高めるとともに、医療機関に患者・家族等の相談等の情報を提供することを通じて、医療機関における患者サービスの向上を図ることを目的として、中立的な立場から、患者・家族等と医療機関の信頼関係構築を支援すること等を基本指針として、平成15年9月8日に相談窓口(\*1)を開設している。

(\*1) 県センター(県医療安全支援センター) 1か所 ・・・県健康福祉本部医務課内 地区センター(地区医療安全支援センター) 5か所 ・・・各保健福祉事務所内

#### ①伊万里保健福祉事務所 相談実績(1月~12月)

年度	受付件数(延)
平成28年	3件
平成29年	3件
平成30年	7件
令和元年度	9件
令和2年度	16件
令和3年度	5件

#### ②佐賀県 相談内容及び件数 (令和3年1月~12月)

区分	件 数	当事務所分 (再掲)
医療行為・医療内容に関すること	90	(1)
職員の対応に関すること	184	(4)
施設等に関すること	11	
医療情報の取扱いに関すること	23	
医療機関の紹介に関すること	7	
診療報酬に関すること	23	
医療知識等に関すること	24	
その他	28	
合 計	390	(5)

#### (10) 地域医療構想調整会議西部構想区域分科会

都道府県は、地域の医療需要の将来推計や報告された情報等を活用して、構想区域ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を適切に推進するための地域医療のビジョン(地域医療構想)を策定することとされた。 そのため、医療計画において定める将来の病床数の必要量を達成するための方策その他の地域医療構想の達成を推進するために必要な事項について協議することを目的として、佐賀県地域医療構想調整会議が設置された。それに伴い、構想区域(二次医療圏)ごとの分科会として、西部医療圏(伊万里市、有田町)では「西部構想区域分科会」を設置した。

※地域医療構想:病床の機能区分(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)ごとに医療需要と必要病床数を推計し、将来の医療提供対背の構築に向けた施策の方向性を示すもの。

開催日	内容	出席者数
令和3年5月15日	・第7次佐賀県保健医療計画の中間見直し(へき地医療、在宅医療)について ・令和元年度、令和2年度病床機能報告等の集計結果について ・外来機能報告等の施行に向けた検討について	分科会構成員13名、 オブザーバー7名

#### (11) 西部地域医療協議会

1)設置目的

医療制度改革を踏まえ、佐賀県保健医療計画の策定・推進、地域における保健・医療サービスの課題の抽出及び地域医療連携体制の構築に関する協議を行うため、二次医療圏単位に各地域医療協議会を設置。 西部医療圏(伊万里市、有田町)では、「西部地域医療協議会」を設置。

#### 2)協議事項

- ①佐賀県保健医療計画の策定及び効率的な推進に関する事項
- ②疾病・分野ごとの医療連携体制の構築及び地域連携クリティカルパスに関する事項
- ③地域における保健・医療・福祉の連携強化に関する事項
- ④在宅医療の推進に関する事項
- ⑤その他、設置目的を達成するために必要な事項

※令和元年度:6月3日医務課開催の佐賀県救急医療協議会理事会へオブザーバーとしての参加のみ

# (12) 薬物乱用防止関係

現在、薬物の乱用が深刻な社会問題になっている。特に今日では、インターネット上の取引により、薬物を簡単に入手できるようになっているとともに、合法ハーブ等と称して販売される薬物(いわゆる危険ドラッグ)、MDMAといった錠剤型の麻薬や大麻の乱用が、若い人たちを中心に拡大している。

#### 1) 不正栽培けしの指導

4~6月の不正大麻・ケシ撲滅運動期間を中心に、管内を巡回し、生育場所をみつけて抜去及び 栽培者への指導を行った。

ほとんどが自生あるいは鑑賞用として栽培しているため、リーフレット等の配布により不正栽培防止の啓発が重要である。

令和3年度

	違反件数	セティゲルム種	ソムニフェルム種	合計
伊万里市	2	90	0	90
有 田 町	0	0	0	0
合 計	2	90	0	90

#### 2)「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

\*令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延のため開催なし。令和元年度の開催状況を記載。

#### ①地区打合せ会

<u> </u>		
年度	期日	内 容
令和元年度	6 H 7 H	伊万里総合庁舎別館大会議室にて、14の協力団体代表者などの参加により、令和元年度の普及運動実施計画、ヤング街頭キャンペーンの実施等について打合せを行った。 (協力団体) 薬剤師会、保護司会、少年補導員連絡協議会、ボーイスカウト、高等学校、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際ソロプチミスト、海洋少年団、警察署

#### ②「ヤング街頭キャンペーン」の内容

<u> </u>	1-1-2-1			
年 度	期日	場所	参加人数	内容
令和元年度	7月5日(金) 17:00~18:00	伊万里駅周辺 伊万里ショッピングセン ター周辺	130人	通行人にリーフレット及びポケット ティッシュを配布しながら、薬物乱 用は「ダメ。 ゼッタイ。」 であることを 呼びかけた。

# 4 健康危機管理対策

健康危機管理とは、医薬品・食中毒・感染症・飲料水など何らかの理由で国民の生命・健康の安全を脅かす事態が生じた場合に、健康被害の発生予防・拡大防止等に関する対策である。また、自然災害・事故等などで不特定多数の国民に健康被害が発生・拡大する可能性がある場合に公衆衛生を確保するための対策である。

管内では、健康危機管理に関係する機関連携を強化し、協力し対応する体制確立を目的とし、平成20年10月に「伊万里有田地区健康危機管理対策委員会」を設置。本委員会の円滑な運営を図るため、委員会規約第7条に基づき、各機関の担当者で構成する「伊万里有田地区健康危機管理対策幹事会」を設置している。なお、令和元年12月に中国で発生した新型コロナウィルスに関して、国内でもまん延が確認されており、令和2・3年度は対策会議や地域協議会を開催した。

#### 〇 伊万里有田地区健康危機管理対策委員会

•伊万里有田地区健康危機管理対策委員会(幹事会) 構成員

·伊刀里有田地区健康厄俄自垤对东多	:貝云(针尹云)	
構 成 員	委 員	幹 事
伊万里·有田地区医師会 伊万里·有田地区歯科医師会 伊万里有田地区薬剤師会 伊万里有田共立病院 伊万里警察署 伊万里·有田消防本部 伊万里海上保安署 福岡検疫所佐世保出張所 伊万里市、有田町、伊万里保健福祉 事務所	左記機関代表者 各1名 ※保健福祉事務所のみ2 名 計12名	左記機関の担当者より 各2名 計22名

#### ・幹事会等の開催

開催日	内容	出席者数
①令和3年8月20日 (新型コロナウィルス 感染症にかかる地域 協議会)	・管内発生患者への対応状況、医療提供体制等報告 ・自宅療養の開始及び現状のフォローアップ状況(積極的 疫学調査等に対する基本方針の共有)	31名
②令和4年2月2日 (新型コロナウィルス 感染症にかかる地域 協議会)	・最近の感染状況等について ・感染拡大への対応について(当初の方針について共有)	17名

#### 〇研修参加・開催など

2019年3月には新型インフルエンザ等対応マニュアルを策定。災害対応の人材育成を目的にDHEAT養成研修受講に2016年からほぼ毎年参加している(R2・3年度は開催なし)。さらに所内職員を対象に研修を実施した。

# (1)健康危機管理研修(衛生薬業センター)

\* 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため開催なし。令和元年度の開催状況を記載。

参加日、参加者	場所	内 容
2020/1/20 健康推進担当2名	佐賀中部保健福祉事務所	・外国人観光客を発端とした麻しんアウトブレイクの行政対応 ・麻しん及び風しんの最近の動向と疫学調査の基本
(2)原子力防災訓練		

参加日·参加者	場所	内 容
2021/2/26 健康推進課1名	多久市陸上競技場	各訓練のうち避難退域時検査訓練のみ実施され、参加

#### (3)大規模災害時の保健医療活動にかかる体制整備

開催日	場 所	備考
2021/6/16 所内研修	伊万里保健福祉事務所內	災害初動対応訓練(アクションカード実動訓練)

#### (4)新型コロナウィルス感染症対策

県対策本部、専門家会議、新型コロナウィルス対応医療提供体制強化本部が稼働中

# 5 地域福祉

#### (1)生活保護

生活保護は、現に生活に困っている国民に、その困っている程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ることを目的としている。

#### ①佐賀県の生活保護の推移

	被保護	世帯数	汝	被保証	蒦人員		保護率(0/00)		
区分	実数	県 指数	全国 指数	実数	県 指数	全国 指数	本県	全国	
平成28年度平均	6,461	99	100	7,987	102	102	9.64	16.9	
平成29年度平均	6,468	99	100	7,904	101	101	9.60	16.8	
平成30年度平均	6,461	99	100	7,834	100	100	9.56	16.6	
令和元年度平均	6,523	100	100	7,844	100	101	9.64	16.6	
令和2年度平均	6,492	100	100	7,720	98	100	9.55	16.3	
令和3年度平均	6,356	97	-	7,474	95	-	9.34		

(注)被保護世帯及び人員数は、停止を含む数値である。全国の2019年度平均の数値は未公表。 数字は生活保護速報による。(平成30年度=100)

#### ②生活保護法による被保護世帯及び人員数

令和4年3月分

市町名	県内の世帯	<b>持及び人口</b>	被仍	<b>张</b> 護	停	止	保護率(0/00)			
111 1-1 21	世帯	人口	世帯	人員	世帯	人員	当月	停止含	前年 同月	
佐 賀 県	314,736	800,376	6,290	7,399	66	75	9.24	9.34	9.67	
有田町	6,979	,		127	2	6	6.83	7.15	7.22	

(注)被保護世帯人員には停止を含まない。保護率の「前年同月」には停止を含む。 数字は生活保護速報による。

# (2)パーキング・パーミット制度

「歩行困難な方」に、地域福祉課および県内保健福祉事務所、市町で県内共通のパーキング・パーミット (身障者用駐車場利用証)を交付し、利用証を車に掲示しておくことで、県と協定を結んだ県内の施設やショッピングセンターなどの身障者用駐車場を利用できる制度(平成18年7月~)。 令和4年3月末現在、県内の協力施設は1,894施設である。

#### 伊万里保健福祉事務所におけるパーキング・パーミット交付状況(新規)

有効期間		5	年		1年	未満	管内計	県計
種 別	身体障害者	高齢者	難病患者	知的障害者	妊産婦	けが人等	日下1月	<b>州</b>
平成25年度	61	17	12	1	32	3	126	5,324
平成26年度	48	19	5	2	26	7	107	5,524
平成27年度	73	12	3	2	24	5	119	6,137
平成28年度	101	2	22	2	18	8	153	6,444
平成29年度	57	15	11	2	13	6	104	6,450
平成30年度	42	6	6	0	5	8	67	8,088
令和元年度	22	3	6	0	3	5	39	6,520
令和2年度	31	8	3	1	3	6	52	6,290
令和3年度	62	1	16	1	7	4	80	5,205

# (3)ヘルプマーク交付

外見からわかりづらいが援助や配慮を必要としている方へ「ヘルプマーク・ヘルプカード」を交付することにより、災害時や日常生活の中で困ったときに周囲の方に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくする制度(平成30年7月~)。

#### ヘルプマーク交付件数

年度	管内	県·市町 計
令和2年度	7件	1,153件
令和3年度	8件	1,457件

※令和2年度県・市町計の件数については、佐賀中部及び 唐津保健福祉事務所が令和2年11月分から令和3年3月分 までの報告が未提出であったため、本年度加算修正してい ます。

# 6 母子保健福祉

### (1) 訪問指導

特に指導を必要とする妊産婦、乳幼児、長期療養児童(小児慢性特定疾病児/等)等に対し、訪問指導を実施した。

#### 令和3年度

		14.13	-tr (=	~! IB	/ L I I I	そ	3.1	
		妊婦	産婦	乳児	幼児	障害児	長期療養児童	計
	延人員	1	4	15	48	2	59	129

### (2)保健指導

障害児や長期療養児童(小児慢性特定疾病児)、女性の健康等に関する保健指導を実施した。 また、育児や療養・健康上の不安軽減をはかるため、随時の電話相談に保健師が対応した。

#### 令和3年度

	思春期	期 障害児 在宅長期 児童(4		女性の健康 相談	その他	計
来所保健指導延人員	0	0	172	125	0	297
電話相談延人員	0	0	288	106	0	394

### (3) すこやか発達相談指導事業

#### ○療育発達相談

市町の相談、健診で要経過観察の児等、発達にフォローが必要な乳幼児の発達のフォローや保護者の不安の軽減のため、専門医師の診察とともに療育指導を行った。

令和3年度

開設回数		相談延人員			<u> </u>	従事者							
			ケースワーク	発達訓練	家庭訪問	次回相談	受診勧奨	その他	計	医師	保健師	理学療法士	その他 (看護師・ 栄養士)
	8	18	18	5	0	11	0	1	35	8	16	8	4

※事後措置は複数計上

### (4) 公費負担医療給付状況

#### ①小児慢性特定疾病医療費支援に係る医療費助成

小児慢性特定疾患医療は、児童福祉法第19条の3の3に基づき18歳未満(継続の場合20歳到達まで)の疾患児童に対して 行う医療支援。

#### 受給者証所持者数(疾患区分別)

令和4年3月31日時点

疾患区分別市町	悪 性 新生物	慢 性腎疾患	慢 性 呼吸器 疾 患	慢 性心疾患	内泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性 代 謝 異 常	血友病等血液疾患	神経・ 筋疾患		染色体又 は遺伝子 に変化を 伴う症候 群	皮膚疾患群	脈管 系疾 患	骨系疾 患	合計
令和元年度 計	6	10	3	21	21	3	8	2	0	12	9	2	2	1	0	100
令和2年度 計	11	13	5	22	24	5	8	2	0	13	9	3	3	1	0	119
令和3年度 計	10	7	5	21	22	4	9	1	0	14	11	4	3	1	1	113

#### ②不妊治療費助成

健康保険が適用されない治療を希望しているにも関わらず、経済的負担感を持つ夫婦に対し、費用の一部を負担することで治療を受け易くするための治療費用の助成。(平成25年9月から人工授精及び余剰胚凍結保存料の助成開始、平成31年4月から不育症治療の助成開始、令和3年1月以降に治療が終了したものについては大幅な助成の拡充を行っている。)

#### 助成件数

年度	人工授精	余剰胚の凍結保存 料	特定不妊治療(体外受精· 顕微授精)	不育症治療
令和元年度	46	23	73	4
令和2年度	30	29	81	5
令和3年度	36	25	77	9

#### (5) 母子保健推進員研修会

管内の母子推進員を対象に、資質の向上を図るために開催する研修会

開催期日	内 容	参加者
新型コロナウィ	   バス感染症の影響により、研修会中止。 	

### (6) ハイリスク児に関する事例検討会

ハイリスク乳幼児や在宅の長期療養児童等については、保護者の不安も大きく、きめ細やかな養育支援が必要とされる。保健医療福祉関係者が連携し、継続的な育児支援を行うための連絡会を開催した。

年度	開催回数	内	容	参加者
令和3年度	15回	・退院カンファレンス ・主治医との情報共有 ・就学相談会 ・入学に向けての3者面記 ・特定妊婦ケース会議 ・要保護児童ケース会議	<b>等</b>	医師、看護師、MSW、訪問看護師、市町保健師、市 学校教育課、保育施設関係者、当所保健師、等

# (7) 子育て支援地域サポート検討会

母子の健康水準を向上させるための国民運動計画「健やか親子21(第2次)」の推進及び「子育てし大県さが」プロジェクトの一環として、保健福祉事務所、管内市町をはじめ、関係支援機関等における支援者の資質向上と連携推進を目的として開催した。

年度	開催回数	内容	参加者
令和3年度	4回		市保健師、市家庭児童相談室、伊万里保健福祉事務所保健師

#### (8) 不妊の悩み支援事業

不妊で悩む夫婦などが、気軽に相談する事のできる体制を確立し、専門的な相談や情報提供を行い、不妊で悩む夫婦が各々の健康状態等に合った治療の選択が出来るように支援した。

#### 相談万法及ひ相談人員

11110	ADVITANCO TABLE 195													
区分	電	話	面	接	計									
	実 人 員	延人員	実 人 員	延人員	実 人 員	延人員								
平成30年度	49	74	86	155	135	229								
令和元年度	79	116	94	148	173	264								
令和2年度	67	135	95	147	162	282								
令和3年度	73	118	96	154	169	272								

# (9) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

疾病により長期にわたり療養を必要とする児童の日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る 開催する研修会及び交流会

開催期日	内 容	講師	参加者数
当年	I 度の開催無し(新型コロナ I	  -   ウイルス感染症の影響) 	

#### (10) 思春期からの健康支援事業

性教育に従事する関係者が妊娠・出産・避妊などの健康問題だけでなく、家族やパートナー、自分自身への思いやりなど幅広い意味を持つ性の健康についての認識を高め、望まない妊娠や人工妊娠中絶を防止するために、開催する研修会

開催期日	内 容	講師	参加者数
当年度	l €の開催無し(新型コロナウ l	     イルス感染症の影響) 	

### (11) 児童虐待防止市町村支援事業

児童虐待防止のためには育児不安の軽減など母子保健福祉分野の取り組みが必要である。 管内市町の児童虐待防止対策への支援として、要保護児童対策地域協議会及び実務者会議への 参加や会の運営等に対する助言・指導を行った。

また家庭訪問や関係機関との連絡調整等を行った。

	支 援	内 容
伊万里市	・地域協議会の開催、運営に関する検討 ・実務者会議開催に向けた支援	<ul><li>・ケース検討会への参加</li><li>・困難事例への同伴訪問 / 等</li></ul>
有田町	・地域協議会及び実務者会議への参加 ・関係機関への研修開催への支援	・ケース検討会への参加 ・困難事例への同伴訪問 / 等

#### 令和3年度

	被虐待のおそれのある児								
	乳児	幼児	その他						
訪問延件数	0	0	0						

#### 令和3年度

	医療機関	保育園·幼 稚園	児童相談 所	民生委員	市町関係機 関	その他 (DVセン ター・教育機関・ 障害者支援等)
関係機関連絡延件数	0	0	1	0	1	0

母子生活支援施設への入所相談・・・相談2件、入所1件助産施設への入所相談・・・相談、入所ともに0件

### (12) 母子父子寡婦福祉業務

ひとり親世帯は経済的困窮に対する問題や育児支援上の悩みを抱えた家庭が少なくない。 児童の養育と生計の維持は容易でなく、生活困窮と生活不安は増加傾向にある。

児童の養育、進学、就職等の相談には自立支援員が中心となり関係機関と連携を取り、ひとり親世帯の自立支援に努めた。

#### ①ひとり親家庭への相談支援延件数

			生	活	_	般				児	童	Ī		経済的	J支	援•	生泪	锾	護		そ	0)	他	1	合 割	計
相談指導事項	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	寡婦福祉資金	母子福祉資金	公的年金	童	生活保護	税	訓練給付金	売店設置	たばこ販売	母子世帯向公営住宅	母子福祉施設の利用	母子生活支援施設		
H29年度	1			56										1,158					18						1,2	233
H30年度				29				68				3		1,079			2		47					1	1,2	229
R01年度				62				63						1,081					100						1,3	306
R02年度				4				24					2	1,062					88						1,1	.80
R03年度			30	65				48						861		3			123					20	1,1	50

# ②母子父子寡婦福祉資金貸付状況

青町・年度 市町・年度		修学資金	就学支度資金	修業資金	技能習得資金	就職支度資金	事業開始資金	事業継続資金	医療介護資金	結婚資金	生活資金	転宅資金	住宅資金	合計
	令和元年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
伊万里市	令和2年度	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	令和3年度	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	令和元年度	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
有田町	令和2年度	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	令和3年度	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	令和元年度	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
合計	令和2年度	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	令和3年度	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

※複数年にわたる貸付については、貸付初年度にのみ計上

# 7 精神保健福祉

#### (1)精神保健相談及び家庭訪問状況

医師による相談日を所内において定期的に開設し、本人及び家族の精神疾患や精神保健福祉相談を予約により実施した。また、保健師による電話相談及び面接相談も随時実施した。 さらに保健師による家庭訪問を実施した。

# 相談者数及びその内訳

令和3年度

		相談者数(人)		対象者内訳(人)							
	区 分	実	延	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	その他
精	医師による相談	1	1							1	
神相	保健師による相談	17	31			1				1	29
相談	電 話・メール相 談		138	2	3	2		1	1	16	113
	家庭訪問	12	37	4	5	5					23

# (2)自殺予防対策事業

全国の年間自殺者は平成24年に15年ぶりに3万人を下回り、減少傾向ではあるが、令和2年の自殺者数は11年 ぶりに増加に転じ、対前年比912人の増加となっている。現在の厳しい雇用情勢、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、追い込まれた人に対するセイフティーネットとして、地域における自殺対策の強化を図る。

#### 〇自殺予防施策の実施

①ゲートキーパー養成講座の開催

期日	対 象 者	内 容
令和3年12月10日	伊万里市職員10名	<ul><li>・ストレス、ストレスへの対処、セルフケアの方法</li><li>・うつ病について</li><li>・自殺対策とゲートキーパーについて</li></ul>

#### ②自殺未遂者支援検討会の開催:地域の関係者で情報交換や課題解決に向けた検討を行う

期日	対 象 者	内 容
		・自殺の現状と取り組みについて ・関係機関の自殺未遂への対応について ・自殺未遂者支援フロー案について

# ③自殺予防週間(9月10日~16日)、自殺対策強化月間(3月)における普及啓発活動

内 容	実 施 日	参加人数(人)	備考
展示コーナーの設置 ・自殺予防に関するリーフレットを配置 ・メンタルヘルスに関するリーフレットを配置 ・自殺予防に関するパネル等の展示 ・自殺予防啓発用ティッシュ、ウエットティッシュ 消毒用携行ジェル	令和3年9月10日 ~令和3年9月16日 令和4年3月1日 ~令和4年3月31日	\	総合庁舎玄関ホール及び保健所玄関ホール、2F渡り廊下に展示
キャンペーン 伊万里市図書館にて、「こころのとしょかん」を設置 ・こころの健康に関する本の展示 ・月間ポスター、のぼりばたの配置 ・メンタルヘルス等のリーフット類の配置 ・うつ、自殺対策関連のパネルの設置	令和4年2月25日 ~令和4年3月31日		伊万里市と共同で実施

# (3)自立支援医療受給者証、精神障害者手帳所持者数及び措置入院件数

年 度	措置入院 件 数	精	神障害者保	自立支援医療		
		手帳所持	4	等級別内訴	受給者証 所持者総数	
		者総数	1級	2級	3級	別付在秘数
H 30	0	475	22	333	120	1,061
R1	10	530	26	370	134	1,112
R2	3	559	31	385	143	1,227
R3	2	602	36	412	154	1,168

# 8 難病対策

# (1)難病相談、家庭訪問、患者・家族のつどい状況

神経系などの重症難病患者を中心に相談、家庭訪問を行い、また、患者及びその家族等の「つどい」を開催 し、意見交換や交流を行った。

区 分	医療	相談	家庭訪問		個別相談		学習会(つどい)	
年 度	回 数	人数(延)	実人員	人数(延)	実人員	延人員	回 数	人数(延)
R2	0	0	10	33	697	1,508	0	0
R3	0	0	5	9	769	1,783	0	0

# (2)訪問相談員育成に関する業務

難病対策を担当する職員、医療従事者等に対し研修会等を実施し、従事者の資質向上に努めている。 令和3年度

開催期日	事業名	場所	内 容	参加者数
令和3年12月3日(金) 15:00~16:00	重症難病患 者等支援関 係者連絡会	web開催 (伊万里保 健福祉事務 所)	講演 「医療的ケア児の災害時支援について ~個別の避難計画策定を通して~」 講師 武雄市役所 福祉課 こども発達支援室 福田 亜紀子 氏	11名

# (3)特定医療費(指定難病)支給認定等に係る業務

「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき、医療費助成(特定医療費(指定難病)受給者証)申請・ 届出の受付及び受給者証の交付を行うとともに、保健師等による相談を行った。

また、平成28年3月31日まで対象疾病306疾病から、平成29年4月1日より330疾病、平成30年4月1日より331 疾病、令和元年7月1日より333疾患、令和3年11月1日から338疾患を助成対象としている。

#### (申請・届出受理状況)

	受給者数	その他の申請・届出件数	更新申請件数	新規申請件数	年 度
<b>※</b> 新型=	697	324	14※	77	R2
(延べ数	667	420	608	108	R3

コロナウイルス感染症のため

)

#### (4)難病対策地域協議会

難病患者の在宅療養支援を円滑にするために、難病患者の現状と課題及び災害時の対応の対応についての 意見を求め検討を行った。

今和3年度

開催期日	場所	内 容	委員数
令和4年1月	書面会議	事業報告 ○難病対策の取り組みについて ・令和3年度 難病患者在宅療養支援研修会(訪問相談員育成事業) ・地域支援 ・命の72時間事業について ・難病患者・家族交流会 ・在宅重症患者一時入院事業について 協議事項 ○地域の災害時支援の拡充を図るため、事前の情報把握や体制整備等について情報交換を行った。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議で開催した。各委員から書面で意見をいただき、後日委員に対して意見のフィードバックを行った。	22名

# 9 原爆被爆者対策

広島市及び長崎市に投下された原子爆弾により被爆を受け、今なお健康被害に苦しむ被害者の健康保持増進及び福祉の向上を図るため、被爆者援護法に基づく指定医療機関での医療給付、健康診断、希望者に対するがん検診、各種手当の支給援助を行っている。

# (1)原爆被爆者手帳交付状況

令和4年3月31日現在

	被爆者 受診者証 受診者証		計
佐 賀 県	721	43	764
管 内	66	0	66
伊万里市	47	0	47
有 田 町	19	0	19

# (2)被爆者健康診断実施状況

令和3年度

		第1回(5月~6月)	第2回(10月~11月)
対 象	者 数	66人	66人
一般検	査 受 診 者	11人	10人
受	診率	17.0%	15.0%
要精密	検査者数	0人	0人
要精	密 率	0.0%	0.0%

# (3)被爆者がん検診実施状況

令和3年度

	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精密者数	要精密率(%)	特別検査
胃がん	66人	2人	3.0%	0人	0.0%	
肺 が ん	66人	3人	4.5%	0人	0.0%	喀痰細胞診 2人
乳がん	66人	2人	3.0%	0人	0.0%	乳房X線 2人
子宮がん	66人	2人	3.0%	0人	0.0%	
大腸がん	66人	3人	4.5%	1人	33.3%	
多発性骨髄腫	66人	4人	6.1%	0人	0.0%	
合 計	76人	16人	21.1%	1人	6.3%	

# (4)被爆者手当等受給状況

令和4年3月31日現在

	手	当		件数	支 給 条 件	
医	療特	別手	当	0	原爆が原因でなった傷病の状態にあると厚生労働大臣の認定を受けた者で、現にその疾病の状態にある人	
特	別	手	胀	0	上記と同様の認定を受けた者で、現在はその傷病が治った人	
健	康 管	理 手	当	52	被爆者で造血機能障害、肝臓機能障害等、厚生労働省令で定める 障害(11種)にかかっている人	
保	健	手	当	4	被爆地から2キロメートル以内で直接被爆した人と、その人の胎児であった人	
介	護	手	当	0	原爆の影響による精神上又は身体上の障害のために、費用を支出 して介護人を雇っている人。もしくは家族に介護してもらっている人。	
葬	S T	Ż Ż	料	5	被爆者が死亡した場合は、葬祭を行う人に対して支給	

# 10 栄養・健康づくり推進

国において「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針(平成24年7月)」が改定され、本県においても、少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、生活習慣や社会環境の改善を通じて、「共に支えあい、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」を目指した新たな健康増進計画「第2次佐賀県健康プラン」(H25~R4年度)を策定した。運動期間については、国の健康づくり運動が一年延長されたことにより、佐賀県においても令和5年度まで延長された。

地域と職域の連携を強化するための「伊万里・有田地区健康プラン地域・職域協議会」を開催し、生涯を通じた継続的な健康づくりを推進した。

#### (1)健康アクション佐賀21推進事業

#### ①伊万里・有田地区健康プラン地域・職域協議会

会和3年度末現在

	17年10年12年12年12年12年12年12年12年12年12年12年12年12年12年	
期 日	構成委員	内 容
第1回協議会 令和3年3月 〔書面開催〕	地区医師会 地区歯科医師会 地区薬剤師会 看護協会北部地区支部 栄養士会伊万里支部 伊万里市農業協同組合 伊万里市食のまちづくり推進委員会 伊万里市食生活改善推進協議会 有田町消費者グループ協議会 伊万里商工会議所 有田商工会議所 伊万里労働基準監督署 全国健康保険協会佐賀支部 伊万里市、有田町	・令和2年度の取組状況について ・佐賀県「ストップ糖尿病」対策事業に ついて ・令和3年度の事業計画(案)について

<sup>※</sup>令和3年度は未開催

#### ②市町健康づくり計画策定状況

市 町	策定年月	計画名	計画期間
伊万里市	平成13年 3月策定	伊万里市いきいき健康づくりプラン21	H13~H24年度
アカ至巾	平成25年 3月策定	第2期伊万里市いきいき健康づくりプラン21	H25~R5年度
有田町	平成20年 3月策定	有田町健康プラン	H20~H24年度
有四門	平成25年 3月策定	有田町健康プラン(第二次)	H25~R5年度

<sup>※</sup>市町健康づくり計画においても運動期間を令和5年度まで延長された。

#### (2)地域・職域連携推進事業

#### ①二次医療圏単位組織の運営

※伊万里・有田地区健康プラン地域・職域協議会

#### ②ワーキンググループ会議の開催

令和3年度末現在

期 日	構成委員	内 容
【ストップ糖尿病対策事業】	地区医師会 地区歯科医師会	※「ストップ糖尿病」対策会議及び関係
対策会議;1回	地区薬剤師会	者連絡会と連携
連絡会議;1回	看護協会北部地区支部	・糖尿病に関する広報について
メールにて	栄養士会伊万里支部	・職域向け「糖尿病予防啓発チラシ」の
意見聴収	伊万里市、有田町	作成について

#### ③連携事業の実施

令和3年度末現在

© 1233 1 714 1 7 4 1 1 2		7和3千度木苑任	
内 容	期 日	人数	内 容
全国安全週間説明会	令和3年6月17日	95名	・健康づくりに関する情報提供
職域向け「糖尿病予防啓発 チラシ」の作成・提供	令和4年1月~令和4年3月	2,270 事業所	・糖尿病と歯の健康に関する内容にて作成、配布
ストップ糖尿病対策事業に おける県及び専門医療機関 と企業との連携方法の模索 について	令和3年10月~令和3年11月		管内事業所 ・取組趣旨について ・連携事業の実施について

#### (3)糖尿病対策事業

糖尿病治療の医療連携を促進し、受療中の患者に対する適切な療養指導を行うことにより、糖尿病の重症化や合併症の予防を図っている。

また、併せて、糖尿病の発症を予防するために、適切な食生活や運動習慣等の実践に結びつくよう環境を整備している。

#### ①糖尿病疾病管理強化対策事業[「佐賀県糖尿病連携手帳」普及・活用セミナー]

令和3年度末現在

期 日	対象者	人数	内 容
令和3年11月13日(土) 14:00~16:15	医療機関コメディカルスタッフ、 行政関係者 等	20	<ul><li>・多職種連携による糖尿病患者支援の 必要性について 医師</li><li>・糖尿病連携手帳を活用した療養指導と 関係機関との連携について 看護師</li></ul>

#### ②食の環境整備事業

【飲食店等に対する指導件数】

令和3年度

スマートミール認証の基準に合致する飲食店	0 店舗
うまっ!ヘルシーの基準を満たす食事を提供する飲食店	26店舗 (新規9店舗)
飲食店からの相談(延回数)	6 回
飲食店への情報提供(延店舗数)	4 店舗

#### 【消費者に対する健康な食事を提供する飲食店の普及啓発】

令和3年度

情報提供(延人数)	1,000 人
-----------	---------

#### 【「健康な食事(うまっ!ヘルシー)」を提供する飲食店一覧】

	17410千及/						
No.	表示店名	市町名	No.	表示店名	市町名		
1	喜楽	有田町	16	和食処 赤絵	有田町		
2	蕎麦 美吉	有田町	17	しえ・もあ藤	伊万里市		
3	焼肉 かむら	有田町	18	ギャラリー有田	有田町		
4	キッチングランマ	有田町	19	ダイニングキッチン風の丘	有田町		
5	レストランまるいし	有田町	20	ミニレストラン クック	有田町		
6	九州惣菜Aコープブリス店	有田町	21	レストラン むーらん	伊万里市		
7	麺処 川	有田町	22	伊万里温泉白磁の湯	伊万里市		
8	kasane	有田町	23	レストラン 石けり	伊万里市		
9	ひとふし	有田町	24	民家レストラン伊万萬亭	伊万里市		
10	しほみ食堂	伊万里市	25	ロジェ	伊万里市		
11	イオン九州(株)マックスバリュ伊万里	伊万里市	26	手作りお弁当とデリのテイクアウト専門店hakobune	有田町		
12	モンブーシェ	伊万里市					
13	カフェルント	伊万里市		伊万里市 10店舗(新規5店舗)			
14	本陣	有田町		有田町 16店舗(新規4店舗)			
15	ラーメン太郎	有田町		合計 26店舗(新規9店舗)			

#### ③糖尿病発症予防のための普及啓発事業

令和3年度

•			
事業名	実施日及び 開催場所	対象及び人数	内 容
レシピ提供	春・夏・秋・冬の年4回 管内直売所	直売所 7カ所	野菜レシピを1回あたり4品1カ所40枚配 布。 店に設置し買い物客に提供。

### (4)低栄養予防対策事業

地域で高齢者を支援する関係者が、高齢者の食の課題を共有し、課題解決のための方策を検討するとともに、食に関する必要なサポート体制を整備する。

令和3年度末現在

期日	構成委員	内 容
791 11	11777.25	1 4
地域高齢者の食を サポートする検討会 令和4年1月28日(延期) 令和4年3月2日(中止)	伊万里市、有田町栄養士 伊万里市、有田町地域包括支援センター保健師 地域活動栄養士 (市町地域ケア会議出席者) 配食業者(有田町社会福祉協議 会)	<ul><li>(1) 関係者の抱えている課題を共有し、ニーズを とらえる</li><li>(2) 次年度の取組み計画について</li></ul>

<sup>※</sup>新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。

### (5)ストップ糖尿病対策事業

かかりつけ医、専門医療機関、医療保険者、関係団体等、糖尿病の予防と治療に係る関係者間で情報共有し、連携して対策に取り組むことすることで、患者数の減少や重症化の予防を図る。

令和3年度末現在

期日	構成委員	内 容
第1回対策会議 令和4年11月1日 Web会議	地区医師会 地区歯科医師会 透析医部会 基幹病院 地区薬剤師会 看護協会北部地区支部 栄養士会伊万里支部 佐賀県糖尿病療養指導士会伊万里·有田支部 佐賀県国民健康保険団体連合会 佐賀県歯科医師国民健康保険組合 佐賀県建設国民健康保険組合 佐賀県建設国民健康保険組合 伊万里市、有田町	<ul><li>(1) 佐賀県の糖尿病の現状について</li><li>(2) かかりつけ医と基幹病院の病診連携体制について</li><li>(3) その他</li></ul>

#### (6)たばこ対策推進事業

健康増進法改正において受動喫煙防止対策が義務化され、更なる受動喫煙に関する普及啓発に努め、禁煙・分煙・防煙の3つの柱を中心にたばこ対策の推進を図る。

全ての小・中学校で防煙教育が実施され、保健福祉事務所では実施状況の取りまとめなどを行った。

	小学校数	人員	中学校数	人員
伊万里市	16	560	9	465
有田町	4	169	2	172

# (7)地区組織育成支援

①研修会の開催

令和3年度末現在

期日	対象者	人員	内 容
	食生活改善推進員 役員·事務局	12名	・各事業の進め方について ・令和3年度事業の進捗状況について
	食生活改善推進員 役員·事務局	12名	・いただきますは野菜から「ベジスタ」の取組紹介 ・低栄養・フレイル予防について ・活動記録帳の記入について

### ②食生活改善地区組織の育成状況

令和4年4月末日現在

単 位	組 織 名	会長名	設立年月日	会員数
伊万里市	伊万里市食生活改善推進協議会	吉岡 茂子	昭和44年12月10日	281名
有田町	有田町食生活改善推進協議会	池田 美代子	平成18年5月30日	49名
保健福祉事務所 単位	伊万里·西松浦地区食生活 改善推進協議会	吉岡 茂子	昭和48年6月11日	330名

# (8)栄養士・調理師免許事務

令和3年度(単位:件)

区 分	申請	書換え	再交付
調理師	20	6	5
栄養士	9	3	1
管理栄養士	5	2	0
計	34	11	6

# (9)健康增進指導状況(栄養・運動等指導)

令和3年度

									10 十皮					
			個別指導延人員							集団指導	尊延人員			
		栄養 指導	(再掲) 病態別 栄養指導	(再掲) 訪問による 栄養指導	運動 指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙 指導	栄養 指導	(再掲) 病態別 栄養指導	運動 指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙 指導
	妊産婦													
実	乳幼児													
施数	20歳未満 (乳幼児を除く。)													
	20歳以上 (妊産婦を除く。)	1	1						19					
	計	1	1						19					

# (10)特定給食施設関係者研修会

令和3年度末現在

開催期日	対象者	人員	内容
令和3年10月14日	保育所、認定こども園、	17名	保育所給食栄養管理の手引き(令和3年2月改定)について
令和3年10月19日	小規模保育事業所等 栄養·給食管理担当者	19名	講師 伊万里保健福祉事務所 健康推進担当 保育所における衛生管理について 講師 伊万里保健福祉事務所 衛生対策課

<sup>※</sup>感染症対策により同じ内容を2回に分けて実施

### (11)特定給食施設数及び指導状況

令和3年度末現在

	施言	<b>少数</b>	個別指導			集団指導
施設の種類	特定給食 施設	その他の 施設	回数(延)	回数	施設件数	内 容
学 校	8	2	0			
病 院	6	3	12			
介 護 老 人 保 健 施 設	3	0	1			
介護医療院	0	1	0			
老人福祉施設	5	16	5	2	36	・保育所給食栄養管理の手引き (令和3年2月改訂)について
児童福祉施設	11	22	34	۷	30	  ・保育所における衛生管理について
社会福祉施設	1	2	0			
寄 宿 舎	0	1	0			
その他	2	20	5			
計	36	67	57			

### (12)管理栄養士養成施設学生の公衆栄養学実習指導

令和3年度末現在

			〒和3年及木現住
実習期間	養成施設名	人員	内容
集中講義 *〔学内実習	に振替え〕		保健福祉事務所事業概要
6月14日~6月18日	西九州大学	5	
6月21日~6月25日	西九州大学	4	・健康アクション佐賀21事業
8月23日~8月27日*	西九州大学	(4)	・地域・職域連携推進事業 ・食の環境整備モデル事業
9月6日~9月10日*	西九州大学	(4)	・特定給食施設指導 ・健康プラン人材育成事業
10月4日~10月8日	中村学園大学	3	・市町村栄養士活動状況
10月4日~10月8日	長崎国際大学	2	

<sup>\*:</sup>コロナ感染症により学内実習へ振替え

# (13)健康づくり市町指導

令和3年度末現在

	伊万里市	有田町	計	栄養業務検討会
所 内	7	4	11	3回 ・栄養・健康づくり事業の 取組状況について
所 外	1	0	1	開催・地域の健康課題について等

### (14)食品表示法等に基づく食品表示に関する相談・指導

令和3年度末現在

区 分	相談	調査	計
件数	27件	1件	28件

# 11 歯科保健

# (1)障害者・難病患者等歯科保健事業

#### ①障害(児)者・難病患者等歯科相談

心身障害(児)者、難病患者等は、歯科健康診査や保健指導を受ける機会が少なく、重症化する可能性があるため、本人や家族に対し歯科保健指導を実施することにより、心身障害(児)者、難病患者等の口腔内の健康管理を推進し、併せてQOL(生活の質)の向上に資する。

開催期日 場 所		場所相談者		従 事		者			
開催期日 場所	<i>物</i> だし	1	歯科医師	歯科衛生士	栄 養	士	保	健	師
令和2年度	<b>新型コロナウイルスの影響で事業中止</b>								
令和3年度		新型コロナ	ウイルスの影	響で事業中	止				

#### ②障害者歯科保健ネットワーク検討会

地域での障害者歯科保健医療サービスが、総合的、効果的に実施されるように、保健、福祉、医療等の 関係者が集まり、情報交換、連携の推進を図るために検討会を実施した。

開催期日	検 討 委 員	検討内容	出席 者数					
令和2年度	新型コロ	新型コロナウイルスの影響で事業中止						
令和3年度	新型コロ	新型コロナウイルスの影響で事業中止						

### (2)フッ化物洗口従事者研修会

県は、むし歯予防に極めて有効なフッ化物を永久歯が生える時期に積極的に応用するため、保育所・幼稚園、亨でのフッ化物洗口の普及を図っている。

そこで、フッ化物洗口について、関係者の理解をより深め、適正な実施を図ることを目的として、従事者等を対象とした研修会を実施した。

開催期日	対象者場所		内容	出席 人数
令和2年度		新型コロナ	ウイルスの影響で事業中止	
令和3年 8月23日 ~8月31日	保育所·幼稚園 小·中学校 市町 等	YouTube視聴研 修	(1)講演1 「フッ化物洗口とむし歯予防」 講師:九州大学大学院歯学研究院 口腔予防医学分野 古田 美智子 先生 (2)講演2 「確認しましょう!フッ化物洗口」 講師:佐賀県歯科衛生士会 小部 素子 氏	36名

# 12 肝疾患対策

佐賀県は、がんによる死亡率が全国的に高位であり、その中でも肝がんによる死亡率は平成11年から全国ワースト1位の状況が続いていたが、平成30年にワースト1位から脱却した。肝がんの原因の約9割は肝炎ウイルスによるものと考えられている。県内指定医療機関での無料検査も含め、地域、職域に関わらず肝炎検査受診勧奨に努めている。また、その後の精密検査、定期検査受診勧奨、治療費助成事業の周知等、肝疾患対策事業を通して肝がん予防に取り組んでいる。

# (1) 伊万里·有田地区市民公開講座

保健所管内の肝疾患対策のために,管内の住民及び医療機関等の保健指導従事者の肝疾患への 知識向上及び助成制度普及を目的として研修を行っている。

開催期日	開催場所	参加人数	研修内容
令和3年度			新型コロナウイルスの影響で事業中止
令和2年度			新型コロナウイルスの影響で事業中止

# (2)肝炎治療費助成事業(平成20年度~)

この事業は、B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎治療を促進し、将来の肝硬変、肝がんの予防を図るため、インターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療並びにインターフェロンフリー治療等に係る医療費に対して助成するものである。

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	インターフェロン治療 目・テラフ <sup>®</sup> レビル・シ	ぼ(新規・2回 /メプレビル)	0	0	0	0	0	0
申請 件数	インターフェロ	ンフリー治療	50	22	10	8	6	12
干奴	核酸アナログ	新規	9	3	2	5	3	4
	製剤治療 継続		72	75	79	78	34	75
承刼	インターフェロン治療(新規・2回 目・テラプレビル・シメプレビル)		0	0	0	0	0	0
承認 件数	インターフェロ	ンフリー治療	50	22	10	8	6	12
11 250	核酸アナログ	新規	9	3	2	5	3	4
	製剤治療	継続	72	75	79	78	34	75

<sup>\*</sup>令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月1日~令和3年2月28日の間に有効期間が満了する受給者は有効期間が1年延長となった。

#### (3)保健福祉事務所における肝炎ウイルス検査事業(平成19年5月~)

肝炎患者の早期発見、早期治療、継続管理に結びつけるため、県内各保健福祉事務所において、B型、C型肝炎ウイルス検査及び相談事業を実施している。

	肝炎ウイルス検査									
年 度	開設回数	検査者数	検査結果							
	用权凹数	快且有剱	正常	要精密						
令和3年度	0	0	-	_						
令和2年度	0	0	-	_						
令和元年度	1	1	1	0						

<sup>※</sup> 開設は月2回(R3年5月からは月1回)

# 13 感染症対策

# (1)市町別 結核患者発生状況

全国の結核患者数は近年、減少傾向にあるが、減少率は鈍化している。依然として、結核は、我が国最大 の慢性感染症である(令和2年新登録患者数は12739人)。 佐賀県は全国的な傾向と同様、新登録患者数は 減少傾向にあり、結核罹患率は全国の結核罹患率とほぼ同様である。管内の結核罹患率は全国、佐賀県と 比べて高い傾向にある。また、新登録患者の半数以上が70歳以上となっており(H24以降)、高齢者が多い状 況である。

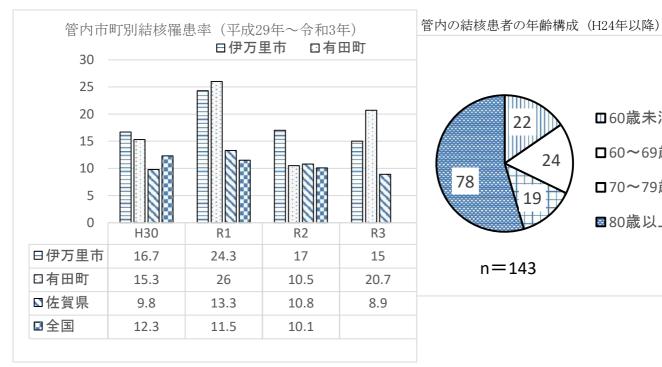
佐賀県の結核に関する詳細な統計は、佐賀県感染症情報センターのホームページから、 『佐賀県の結核2019』(https://kansen.pref.saga.jp/kekkaku/saganokekkaku/kekkaku/2019.pdf)をご参照くだ さい。

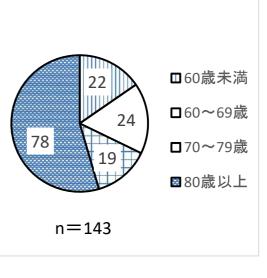
# ●結核患者発生届け出による新規登録者数と活動性分類

令和3年12月31日現在

					活動性結核							
区	$\triangle$	罹患率			肺 結 核 活				潜在性 結 核			
	<i>y</i>	分 (人口10 万対) 計 計		喀痰塗抹 陽性	その他 の 菌陽性	菌陰性・	肺外結核	感染症				
佐	賀 県	8.9	72	51	28	15	8	21	47			
管	内 計	16.5	12	10	8	0	0	4	9			
伊	万里市	15.0	8	7	5	0	0	3	6			
有	田町	20.7	4	3 3 0 0 1				3				

\*罹患率は、1月1日~12月31日の1年間に新たに発生した患者の人口10万人に対する比率





\*全国のR3の結核罹患率は集計中

### (2)市町別 結核患者年末登録者数

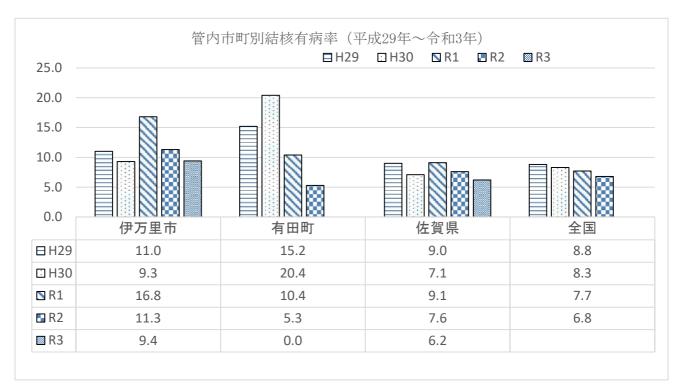
令和3年末、佐賀県の登録患者数は168人(うち活動性結核患者数は50名)、伊万里管内は19人(うち活動性結核患者数は5名)であった。 \*潜在性結核感染症を除いた数

### ●保健福祉事務所で登録管理している結核患者数と活動性分類及び有病率

令和3年12月31日現在

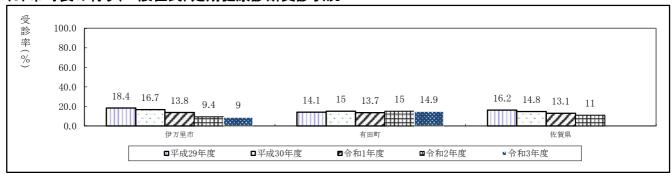
						活動性絲	吉 核					(別掲)
IZ,	区   分					肺結核(登	録 時)		mt. At At.	不活動性	活動性	潜在性
		<i>7</i> 3	(人口 10万対)	計	計	喀痰塗抹 陽性	その他 の 菌陽性	菌陰性・ その他	肺外結 核	結核	不明	結核 感染症
佐	賀	県	6.2	50	35	20	11	4	15	91	27	61
管		内	6.9	5	2	2	0	0	3	12	2	14
伊	万里	市	9.4	5	2	2	0	0	3	10	1	8
有	田	町	0.0	0	0	0	0	0	0	2	1	6

\*有病率は、12月末日現在の活動性結核患者の人口10万人に対する比率



\*R3の全国の結核有病率は集計中

### (3)市町長の行う(一般住民)定期健康診断受診状況



\*平成17年度より対象者は「65歳以上の者」と、「その他必要と認めた者」となった。

#### 〇市町長の行う(一般住民)定期健康診断受診状況

令和3年度

区 分	対象者	受診者	受診率(%)
管 内	24,120	2,573	10.7
伊万里市	17,394	1,574	9.0
有田町	6,726	999	14.9

### (4) 患者家族に対する結核接触者健康診断実施状況

(実人数)

				検査項目※									
				ツベルクリン 反応検査			胸	I G	健診結果				
年度	対象 者数	受診者数	受診率	被注射者数	被判定者数	陽性 者数	部X線検査	RA検査者数	要医療	発見 率	要観察※	発見 率	結核感染症
	人	人	%	人	人	人	人	人	人	%	人	%	人
R1年度	57	57	100.0	4	4	3	12	41	0	0	12	21.1	7
R2年度	53	53	100.0	9	9	3	8	36	0	0	2	3.8	0
R3年度	12	12	100.0	1	1	0	4	8	0	0	0	0.0	0

<sup>※「</sup>要観察」にはQFT(+)、判定保留で経過観察中の者を含む

# (5)接触者に対する結核接触者健康診断実施状況

(実人数)

												()(	<b>ノ</b> く双./
					検	查項目	*						
				ツベルクリン				I	健診結果				
				反応検査		胸	G						
年度	対象 者数	受診者数	受診率	被注射者数	被判定者数	陽性者数	部X線検査	RA検査者数	要医療	発見 率	要観察	発見 率	結核感染症 潜在性
	人	人	%	人	人	人	人	人	人	%	人	%	人
R1年度	237	236	99.6	0	0	0	121	115	0	0	39	16.5	0
R2年度	345	343	99.4	0	0	0	133	210	0	0	26	7.6	1
R3年度	340	339	99.7	1	1	0	101	237	0	0	0	0.4	1

<sup>※「</sup>要観察」にはQFT(+)、判定保留で経過観察中の者を含む

<sup>※「</sup>検査項目」は、重複あり

<sup>※「</sup>検査項目」は、重複あり

# (6) 管理検診実施状況

	対象		受診	者数		健診結果					
年度	<b>多者数</b>	委託機 関実施	定期病 状調査	医療機 関受診	計	受診率	要医療	要観察	治癒		
H28	21	19	0	1	20	95	0	15	5		
H29	49	34	0	12	48	98	0	36	12		
H30	39	21	3	15	39	100	1	25	13		
R1	43	25	3	14	42	98	0	27	15		
R2	54	43	0	10	53	98	0	51	2		
R3	64	51	0	12	63	98	0	39	24		

<sup>※</sup>延人数

# (7) 結核患者家庭訪問等指導状況

	年		訪問指導・来所相談										よる相談
	末登	件	数	目的							件	数	
	録	実	延		本人	、(延件	数)		家族等	等(延作	‡数)	実	延
年度	者数	人員	人員	登録時面 談							人員	人員	
H28	33	42	174	12	1	0	161	0	18	2	4	17	22
H29	47	26	186	15	2	2	156	0	5	4	3	5	27
H30	26	28	146	16	0	6	107	57	10	3	11	18	42
R1	44	44	238	21	0	15	61	189	1	1	34	18	71
R2	39	27	106	10	0	8	20	86	4	0	23	43	86
R3	33	15	60	9	0	3	42	47	2	2	5	68	115

# (8) 結核医療公費負担申請状況 (感染症診査協議会(結核部会))

		結核患者の医療 染症法37条の			入院(勧告)患者の医療 (感染症法37条)				
	申請件数	合格患者	左の	内訳	申請件数	合格件数	左の	内訳	
年度	中請什数	口俗忠伯	承認	不承認	中請什数	可俗什数	承認	不承認	
H30年度	24	24	24	0	31	31	31	0	
R1年度	41	41	41	0	31	31	31	0	
R2年度	18	18	18	0	38	38	38	0	
R3年度	23	23	23	0	26	26	26	0	

# (9) 入院勧告患者状況

年度	新たに入院 前年度末数 勧告した 患者数		入院勧告を 解除した 患者数	年度末数		
H30年度	1	13	12	2		
R1年度	2	10	10	2		
R2年度	2	11	9	4		
R3年度	4	6	10	0		

# (10) 伊万里保健福祉事務所管内における感染症発生状況

分  類	感 染 症 名	H30年		R1年		R2年		R3年	
		患者	無症状病原 体保有者	患者	無症状病原 体保有者	患者	無症状病原 体保有者	患者	無症状病原 体保有者
二類感染症	結核	12	4	18	10	11	2	12	9
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3	1	11	45	6	2	4	0
	つつが虫病	1	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	1	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	2	0
	麻疹	0	0	1	0	0	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌 感染症	0		0		2		0	
	急性脳炎	0		1		0		0	
	ウイルス性肝炎	1	0	0	0	0	0	0	0
	百日咳	8		29		6		1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0		0		0		1	
	梅毒	0	0	2	0	5	1	3	2
指定感染症	新型コロナウイルス感染症					10	3	22	4
新型インフルエ ンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症							204	55

<sup>※</sup>百日咳・・・・・H30.1.1~小児科定点報告疾患から全数届出疾患へと変更。 ※新型コロナウイルス感染症・・・・・R3年2月3日から「指定感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」に変更。

#### (11) 伊万里保健福祉事務所管内における感染症発生動向調査

国・県・保健所を結ぶオンラインシステムにより、感染症の患者発生を迅速に把握し、併せて病原体の検索を行 い、情報を還元することにより、感染症の未然防止を図る。

週報は、毎週水曜日に記者発表を行い木曜日の新聞に掲載されている。

# ●感染症発生状況 [五類感染症定点報告(罹患数)]

# 【调 報 分】

_	l Y								
	区分	疾 病 名	R1年	R2年	R3年	区分	疾	病 名	R1年
	インフ ルエン ザ	インフルエンザ (鳥インフルエンザ除く)	1,741	746	0			:髄膜炎 :を含む)	0
		RSウイルス感染症	233	3	355	₩.	無菌性	髄膜炎	0
		咽頭結膜熱	370	153	91	基	マイコプラ	ラズマ肺炎	16
		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	264	135	78	幹		ア肺炎 病を除く)	0
	小	感染性胃腸炎	465	451	505			胃腸炎 いなであるものに限る)	0
	児	水痘	42	16	38		法律」の一	染症の患者 .11.5施行)に	
	,_	手足口病	546	25	202		加・変更及び疾病分類が変更(- へ)。		
	科	伝 染 性 紅 斑	179	73	0				
		突発性発しん	123	118	99				
		ヘルパンギーナ	186	165	27				

者に対する医療に関する f)により、対象疾病の追 一~四類から一~五類

R2年

1

0

10

0

R3年

0

0

3

0

※週報定点数: 小児科定点(3)、インフルエンザ定点(5)、基幹定点(1)

注)1.インフルエンザ・・・H15.11.5~以降、鳥インフルエンザを除くに変更。

インフルエンザ・・・平成21年分は、平成21年8月25日以降に診断された新型インフルエンザ(A/H1N1)を含む。

- 2.急性脳炎・・・H15.11.5~以降、ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除くに変更。
- 3.百日咳・・・・・H30.1.1~小児科定点報告疾患から全数届出疾患へと変更。

2

流行性耳下腺炎

区分	疾 病 名	R1年	R2年	R3年
	性器クラミジア感染症	48	21	62
S	性器ヘルペスウイルス感染症		0	0
D	尖圭コンジローマ	8	2	7
	淋菌感染症	31	9	22
基	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	75	22	67
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
幹	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0

※月報定点数: STD定点(1)、基幹定点(1)

#### (12)エイズ講演会及び相談・HIV抗体検査

エイズは依然として増加傾向にあり、エイズに対する理解と関心を高め、感染症の未然防止、正しい知識の普及啓発活動を図るため、検査、相談、指導、感染者の受入体制等の充実を推進するとともに、エイズに関する講演会を管内の全高等学校生徒(1年生)等に実施した。伊万里保健福祉事務所では、毎月第1・第4火曜日9時から11時まで、HIVの抗体検査を、匿名及び無料で実施し、相談は随時電話で受け付けている。又、6月のHIV検査普及週間及び12月1日の世界エイズデーにも夜間エイズ検査を実施している。

#### ① エイズ講演会

年 度	対象者	回 数	受講者数	
H29	高等学校生徒	8	893	
H30	高等学校生徒	8	847	
R1	高等学校生徒	8	808	
R2	新型コロナウイルスの影響で中止			
R3	新型コロナウイルスの影響で中止			

#### ②エイズ相談・HIV抗体検査の推移

	エイズ相談件	数(相談のみ)	HIV抗体検査件数		
年 度	伊万里 保健福祉事務所	佐賀県	伊万里 保健福祉事務所	佐賀県	
H27	31	368	31	587	
H28	33	221	31	558	
H29	25	257	37	608	
H30	35	384	29	690	
R1	31	446	34	679	
R2	19	276	18	323	
R3	45	276	25	219	

#### ③ 世界エイズデー関連行事

- 夜間エイズ相談、検査の実施 (12月1日(水)、12月2日(木))
- ・普及・啓発のためのポスター展示、パンフレット、ポケットティッシュの配布等

#### ④ HIV検査普及週間関連行事

わが国のHIV感染者・エイズ患者新規報告数は依然として増加傾向にあり、診断時に既にエイズを発症している事例が3割を占めている状況から、早期発見のための検査の機会を逸していることも考えられる。

このような状況を踏まえ、12月の世界エイズデー普及啓発活動に加え、18年度よりHIV検査普及週間 創設された。普及週間関連事業として、夜間の相談・検査を実施し、検査・相談体制の充実強化を 図っている。

#### <実施内容>

- ・夜間エイズ相談、検査の実施
- 普及・啓発のためのポスター展示、パンフレット、ポケットティッシュの配布等

# 14 環境衛生

健康で住み良い生活環境を維持するため、関係法令に基づき生活衛生施設及びライフラインである 水道関係施設の整備と衛生管理を徹底するよう指導した。

# (1) 生活衛生関係施設等数

#### ①市町別生活衛生営業施設数

令和4年3月31日現在

市町名	旅館	興行場	公衆浴場	理容所	美容所	クリーニング所	合 計
管内計	78	5	12	75	178	58	406
伊万里市	60	2	7	52	140	41	302
有 田 町	18	3	5	23	38	17	104

### ②市町別特定建築物施設数

令和4年3月31日現在

市町名	事務所	店舗	百貨店	旅館	集会場	その他	合 計
管内計	3	2	1	2	4	2	14
伊万里市	3	2	1	2	3	1	12
有 田 町	0	0	0	0	1	1	2

注) その他: 興行場・遊技場・図書館・博物館・美術館

#### ③市町別ビル管理登録業数

令和4年3月31日現在

市町名	建築物環境衛 生総合管理業	建築物 清掃業	ねずみこん 虫等防除業	飲料水貯水 槽清掃業	排水管清掃 業	その他	合 計
管内計	2	3	1	5	1	0	12
伊万里市	2	2	1	3	0	0	8
有 田 町	0	1	0	2	1	0	4

注)その他:飲料水水質検査業・空気環境測定業・空気調和用ダクト清掃業

# (2)市町別水道施設数及び簡易専用水道施設数

令和4年3月31日現在

		然日古田					
市町名	国認可 上水道	県認可 上水道	簡易水道	専用水道	小規模 水 道	合 計	簡易専用 水 道
管 内 計	1	1	6	0	4	12	88
伊万里市	1	0	6		4	11	71
有 田 町		1	0			1	17

#### (3)市町別水道普及率 (令和3年3月31日現在)

市町	普 及 率 %
伊万里市	98.3
有 田 町	99.4
管 内	98.6
佐 賀 県	95.5
全 国	98.1

(全国は令2年3月31日現在)

# 15 食品衛生

#### (1)市町別食品営業許可施設数

令和3年6月1日付けで施行された改正食品衛生法により、法律及び条例で規定された営業許可制度が、法律で32業種の許可、その他は届出となる制度となった。当所は、基準に合った施設の許可・届出や、許可後の食品関係施設の監視指導を行って食中毒等の発生防止、違反(不良)食品等の排除に努めている。 令和4年3月31日現在

	-( \( \infty \) ( \infty \) ( \( \infty \) ( \infty \) ( \( \infty \) ( \infty \) ( \( \infty \) ( \infty \) ( \( \infty \) ( \( \infty \) ( \( \infty \) ( \infty \) ( \( \infty \) ( \( \			平3月31日現在
市町	合	伊工	有	管
NI 65		万 里	田	轄
業種	計	市	町	外
① 飲 食 店 営 業 (新法)	161	103	35	23
飲食店営業(旧法)	800	442	195	163
② 調理の機能を有する自動販売機				
③ 食 肉 販 売 業 (新法)	4	3	1	
食肉販売業(旧法)	27	18	9	
④ 魚 介 類 販 売 業 (新法)	6	6	10	
魚介類販売業 (旧法)	39	27	12	
⑤ 魚 介 類 競 り 売 営 業 (新法) 魚 介 類 競 り 売 営 業 (旧法)				
無 升 類 続 り 元 呂 未 ( 旧 伝 ) ⑥ 集 乳 業 (新法)				
集乳業(旧法)				
⑦乳処理業 (新法)				
乳処理業(旧法)				
⑧特別牛乳搾取処理業				
⑨ 食 肉 処 理 業 (新法)				
食肉処理業(旧法)	14	9	5	
⑩食品の放射線照射業 (新法)		-		
食品の放射線照射業(旧法)				
⑪ 菓子 製造業 (新法)	27	18	9	
菓子製造業(旧法)	91	50	24	17
⑫アイスクリーム 製造業 (新法)	2	1	1	
アイスクリーム 製 造 業 (旧法)	13	6	4	3
③ 乳 製 品 製 造 業 (新法)				
乳 製 品 製 造 業 (旧法)	1	1		
⑭ 清 涼 飲 料 水 製 造 業 (新法)				
清涼飲料水製造業(旧法)	1	1		
⑤ 食 肉 製 品 製 造 業 (新法)				
食肉製品製造業 (旧法)	1	1		
⑥水產製品製造業	2	2		
① 氷雪製造業(新法)				
氷雪製造業 (旧法)				
<ul><li>⑱ 液 卵 製 造 業</li><li>⑲ 食 用 油 脂 製 造 業 (新法)</li></ul>				
食用油脂製造業(旧法)	1	1		
②みそ又はしょうゆ製造業	2	2		
②酒類製造業(新法)	1	2	1	
酒類製造業 (旧法)	5	4	1	
②豆腐製造業(新法)	1	1	1	
豆腐製造業(旧法)	4	3	1	
③ 納 豆 製 造 業 (新法)				
納豆製造業(旧法)				
② 麺 類 製 造 業 (新法)	1		1	
麺 類 製 造 業(旧法)	6	4	2	
② そうざい 製 造業 (新法)	6	4	2	
そうざい 製 造 業(旧法)	26	19	7	
36 複合型そうざい製造業				
② 冷 凍 食 品 製 造 業	1	1		
⑧ 複合型冷凍食品製造業	1	1		
② 漬物類製造業	4	2	2	
30 密封包装食品製造業	1	1		
③食品の小分け業	1	1		
32 添加物製造業	1 050	790	010	900
ッ 計 要 茶 店 営 業 (旧法)	1,250 52	732 7	312 26	206 19
要 糸 店 呂 乗 (旧伝) あん 類 製 造 業 (旧法)	52	1	20	19
食品の冷凍又は冷蔵業(旧法)	10	9	1	
乳酸菌飲料製造業 (旧法)	10	9	1	1
みそ製造業(旧法)	7	5	2	1
醤油製造業(旧法)	2	1	1	
ソース類製造業(旧法)	2	1	1	
かん詰又はびん詰食品製造業(旧法)	1	1		
魚肉ねり製品製造業(旧法)	1	1		
マーガリン又はショートニング製造業(旧法)				
小計	72	23	30	19
計	1,322	755	342	225
注)1 「答註外」とけ 移動骨業(食品骨業事・仮設骨業)のこと			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

注)1「管轄外」とは、移動営業(食品営業車・仮設営業)のこと。 注)2「新法」とは、食品衛生法改正後の許可業種。「旧法」とは、改正前の許可業種。

# (2) 監視件数の推移

年度	件数(件)
H28	1,702
H29	1,666
H30	1,694
R元	1,036
R2	1,138
R3	920

# (3) 食品添加物、成分規格、細菌等の収去検査状況

年度	件数(件)
H28	158
H29	154
H30	147
R元	178
R元	178
R3	52

# (4) 衛生教育の状況

年度	開催数(回)	受講者数(人)
H28	29	1,496
H29	26	1,362
H30	24	1,564
R元	28	1,484
R2	31	1,285
R3	20	291

# (5) 食中毒の状況

		全	国			佐 貧	貿 県			管	内	
年	事件数	患者数	死者数	一事件 当りの 患者数	事件数	患者数	死者数	一事件 当りの 患者数	事件数	患者数	死者数	一事件 当りの 患者数
H28	1,139	20,252	14	18	12	94	0	8	1	8	0	8
H29	1,014	16,464	3	16	15	67	0	4	0	0	0	0
H30	1,330	17,282	3	13	15	34	0	2	0	0	0	0
R元	1,061	13,018	4	12	10	17	0	2	0	0	0	0
R2	887	14,613	3	16	12	14	0	1	1	1	0	1
R3	717	11,080	2	15	5	5	0	1	0	0	0	0

# (6)有症苦情及びその他の苦情件数

年 度	有症		そ	のも	也 の	苦	情	
十 及	苦情	衛生管	衛生	表示	異物	腐敗	カビ	その他
H28	6	5	0	0	9	2	0	4
H29	4	0	1	0	9	1	0	5
H30	7	1	2	1	7	3	0	7
R元	4	6	2	0	4	2	1	5
R2	5	2	1	0	1	1	0	9
R3	2	2	3	0	2	2	0	14

# 16 狂犬病予防・動物愛護

犬の新規登録頭数は平成23年度をピークに減少し、狂犬病予防注射頭数も減少が続いている。 飼い犬、飼い猫の終生飼養の指導を徹底し、飼い犬及び飼い猫の引き取り頭数は減少した。 佐賀県犬猫譲渡センターが開設され、犬・猫の譲渡事業は主に当センターで行われている。 犬の苦情は飼犬が多いが、猫は野良猫や飼主不明猫に関する苦情が多い。

### (1)犬の登録頭数、狂犬病予防注射頭数

	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
新規登録頭数	244	231	241	208	329	242
累計登録頭数	3,848	3,727	3,627	3,472	3,496	3,418
注射頭数	3,460	3,329	3,217	3,060	2,996	2,881

# (2)犬の捕獲、引き取り、譲渡頭数

	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
捕獲頭数	20	27	20	27	16	19
引き取り頭数	0	0	0	37	0	0
譲渡頭数						

※平成27年度以降、譲渡事業は主に犬猫譲渡センターで実施

# (3)猫の引き取り、譲渡頭数

	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
引き取り頭数	114	30	4	43	25	24
譲渡頭数						

※平成27年度以降、譲渡事業は主に犬猫譲渡センターで実施

#### (4)苦情の届出

【犬】				令和3年度
	飼い犬	野犬	不明	計
野犬が多い		2	3	5
放し飼い	6		0	6
犬の引き取り	13	1	7	21
鳴き声	3	0	0	3
農作物被害	0	0	0	0
ふん尿	0	0	0	0
その他	19	1	24	44
合 計	41	4	34	79

【猫】				令和3年度
	飼い猫	野良猫	不明	計
野良猫が多い		20	3	23
放し飼い	0		0	0
猫の引き取り	10	30	11	51
鳴き声	0	0	0	0
ふん尿	4	8	0	12
その他	6	13	25	44
合 計	20	71	39	130

# 17 環境保全

- ・環境関係法令等に基づく特定事業場への立入指導を計画的に実施した。
- ・公害等に係る苦情相談等は、関係機関との連携のもとに現地調査を実施し、原因者への適正処理等の指導にあたった。
- ・水質事故に対しては、関係機関と連携し、緊急対応と原因者指導にあたった。
- ・浄化槽設置者に対しては設置者講習会の受講を指導し、また不適正浄化槽管理者等に対し施設改善や適 正な維持管理の指導を行った。
- ・県では海水浴場の水質状況について一般公表のための調査を行っている。
- ・県では公共用水域の水質監視として河川等の水質調査を行っている。

#### (1)公害関係施設・事業場数、監視件数

7 - HARMORA TANDAN IMPORTAN												
区 分		事業場等	Ė	監視件数								
年	<b>芰</b> R1	R2	R3	R1	R2	R3						
水質事業場	466	457	459	52	51	44						
大気事業場	75	73	76	17	25	12						
特定粉じん排出作	業 7	3	23	8	3	23						
ダイオキシン関係事業	場 5	5	4	6	6	4						
フロン回収業者	等 11	11	12	4	3	1						
浄 化 槽	5, 332	5, 410	5, 472	29	21	30						
浄化槽保守点検業	者 7	6	6	0	1	4						
その他事業場等	<b></b>	_	_	12	13	8						

#### (2) 特定事業場数の内訳(年度末)

区 分			伊万里市			有田町		計			
	年 度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	
	法 律	278	279	280	87	81	82	365	360	362	
水質事業場	条 例	71	72	72	25	25	25	96	97	97	
	計	349	351	352	112	106	107	461	457	459	
	法 律	58	56	57	16	16	17	74	72	74	
大気事業場	条 例	0	0	1	1	1	1	1	1	2	
	計	58	56	58	17	17	18	75	73	76	
ダイオキシン類対策特別措置法		5	5	4	0	0	0	5	5	4	
	i <del>l</del>	412	412	414	129	123	125	541	535	539	

<sup>\*</sup>条例については条例の施設のみを設置している事業場

#### (3) 公害苦情相談件数

7 A D D IN IDENTITY										
区 分	伊	万里	市	7	有田町			計		
年度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	
大気汚染	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
水質汚濁	0	5	2	1	4	0	1	9	2	
騒音・振動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
悪臭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
不法投棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
野焼き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	1	0	0	0	0	1	1	0	1	
計	2	5	2	1	4	1	3	9	3	

#### (4) 水質調査状況

· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	( 1) 13 12 ( 13 12 13 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14											
区 分	件数											
年 度	R1	R2	R3									
特定事業場排水	32	23	33									
海水浴場	0	0	0									
地下水	10	10	31									
異常水質	0	1	0									
その他	0	0	0									
合 計	42	34	64									

#### (5)地下水調査の内訳(令和3年度)

調査の種類	調査地区	調査件数
継続調査	有田町	3井戸×1回 4井戸×1回
一般概況調査	伊万里市	1井戸×1回
71又19人7几7月1日	有田町	3井戸×1回
フォローアップ調査	有田町	20井戸×1回
計	-	31件

#### (6)水質事故発生状況

事 象	伊	万里	市	7	有田町	1		計	
年度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
魚へい死	0	1	1	1	0	0	2	2	1
油流出	2	3	1	1	0	0	2	3	1
その他	0	0	1	2	0	0	0	2	1
計	2	4	3	4	0	0	6	4	3

# (7)特定粉じん排出作業(届出対象石綿(レベル1・2))

区分	伊	伊万里市			有田町			計		
年度	R1	R1 R2 R3		R1 R2 R3		R1	R2	R3		
特定粉じん排 出作業実施届	2	1	0	5	2	0	7	3	0	

#### (8)浄化槽設置数状況(年度末)

	区 分		伊万里市	i	有田町			計			
	年度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	
設置	置届出数	74	77	79	50	41	50	124	118	129	
	合併再掲	74	75	78	48	40	50	122	115	128	
設置	置数累計	2, 735	2, 805	2,864	2, 597	2,605	2,608	5, 332	5, 410	5, 472	
	合併再掲	2,094	2, 165	2, 236	2,030	2,048	2,073	4, 124	4, 213	4, 309	
	合併設置率	76.6	77. 2	78. 1	78.2	78.6	79. 5	77. 3	77. 9	78. 7	

# (9)浄化槽指導件数

内 容	伊	万里	市	丰	育田甲	П		計	
年 度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
改善指導(通知等)	6	6	17	53	32	21	59	38	38
法定検査受検指導	79	84	74	83	89	81	162	173	155
計	85	90	91	136	121	102	221	211	193

# (10) 浄化槽関係業者内訳(令和3年度末)

区 分	伊万里市	有田町	計
保守点検業	4	2	6
清掃業	2	2	4

# (11)浄化槽法定検査状況

検査結果			件	数		
快旦加木		7条検査	-		11条検査	:
年 度	R1	R2	R3	R1	R2	R3
適 正	103	92	95	3, 550	3,640	3, 786
おおむね適正	23	21	10	447	452	502
不 適 正	7	9	4	331	356	248
合 計	133	122	109	4, 328	4, 448	4, 536

# (12)水浴場の水質状況

①伊万里人工海浜公園 (イマリンビーチ)

年度	30	R1	R2	R3
C O D (平均値)	3. 3	4. 2	2. 2	2. 3
糞便性大腸菌 (平均値)	16	3	< 2	4
油	無	無	無	無
油 <u>膵</u> 透 明	全透	全透	全透	全透
判定	В	В	В	В

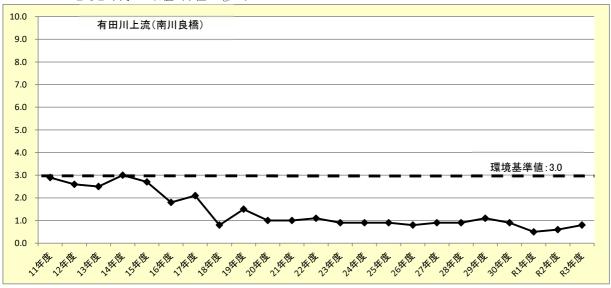
#### ②いろは島海水浴場

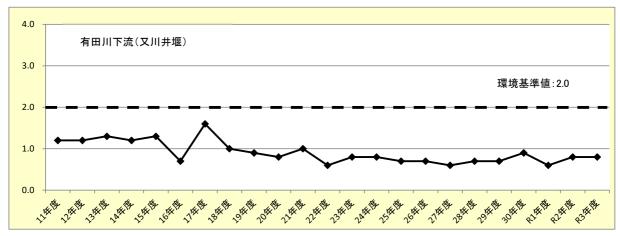
	明時月刊日初				
	年度	30	R1	R2	R3
C O D	(平均値)	4. 1	3.4	2. 4	2. 3
糞便性大腸	菌(平均値)	9	2	< 2	4
油膜(	の有無	無	無	無	無
透	明 度	全透	全透	全透	全透
判	定	В	В	В	В

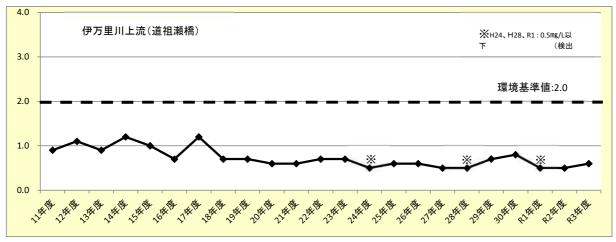
水質は開設中。糞便性大腸菌は、個/100m1中

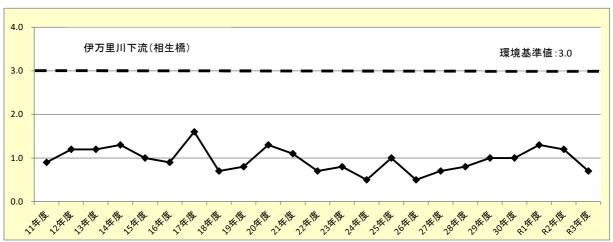
#### (13)河川水質の推移(環境基準点)

BOD年間75%値(単位:mg/1)









# 18 その他

#### (1)地域保健活動推進会議

市町・当事務所の保健師等により、保健事業に関する情報交換・意見交換等を行った。

令和3年度

期日	内 容		出力	席者	
期日	P3 谷	市町	当所	計	
令和3年7月7日(水)	・市町・保健福祉事務所の業務分担、事業計画等 ・地域保健活動推進会議計画 ・研修:「生まれてくる赤ちゃん、生まれてきてくれたこどもたち、ママ、パパが笑顔 で過ごすための取り組みに向けて ー児童相談所での保健師業務を通して一」 ・実践力アップ事例検討会	12	7	19	
令和3年11月18日(木)	・健康危機管理 研修「鳥インフルエンザ発生時の対応と防護服着脱研修」 ・実践力アップ事例検討会	6	9	15	

#### (2) 石綿健康被害救済法

平成17年6月、アスベスト(石綿)関連製品を製造していた事業所の従業員や周辺住民の間で、中皮腫や肺がんなどアスベストが原因と見られる疾病死が多数発生していることが全国で報告された。

佐賀県では、住民のアスベスト暴露に対する健康不安へ対応するため、平成17年7月8日より各保健所等で電話や 面接による健康相談等が開始された。

平成18年3月、石綿による健康被害を受けた方及びその遺族に対し、迅速な救済を図るため「石綿による健康被害の救済に関する法律」が制定され、平成18年3月20日より支給請求受付が開始された。

#### ① 石綿健康被害救済法の健康相談件数

	件数
平成30年度	1
令和元年度	0
令和2年度	0
令和3年度	0

#### ② 石綿健康被害救済法の申請受付件数

	件数
平成30年度	0
令和元年度	0
令和2年度	0
令和3年度	0

#### (3) 看護学生等実習

看護学生・保健師学生に対し、地域社会における保健・医療・福祉の連携の実際及び総合保健チームにおける看護の機能とその必要性を理解させ、総合看護の具体化に役立たせる。また、保健所の地域保健活動と保健師活動の特性を理解させる。実習内容としては、保健福祉事務所の業務概要の説明、各保健事業・家庭訪問への参加・見学を行っている。

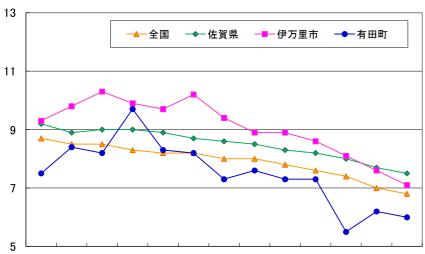
学校名	学生数(実)	日数(実)	実習期間
佐賀女子高等学校 衛生看護専攻科	6人	2日間	R3.4.28、4.30
佐賀県医療センター好生館看護学院 看護学科	5人	2日間	R3.6.30、7.1
佐賀大学医学部看護学科4年	4人	6日間	R3.8.24~8.26、9/7~9/9
伊万里看護学校 看護科	38人	1日間	R3. 8.23 ※集中講義

資料編 : 人口動態統計資料

- 〇 母子保健統計
- 〇 主要死因別標準化死亡比(SMR)

# 日子保健統計

# 1. 出生率の年次推移



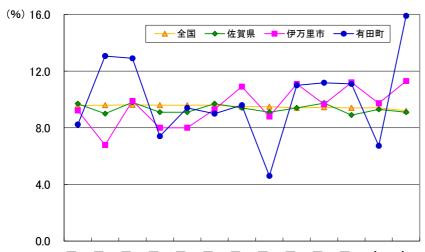
平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30 令1 令2

#### 出生数及び出生率(人口千対)

資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

					具作 江	<u> 只 不 不 尺</u>	<u>- 17/1   11   11   11   11   11   11   11</u>	X (八口丸		1/				
	西暦	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
町村名	データ	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2
全国	出生総数	1,091,156	1,070,035	1,071,304	1,050,806	1,037,231	1,029,816	1,003,539	1,005,677	976,978	946,065	918,400	865,239	840,835
	出生率	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	8	8.0	7.8	7.6	7.4	7.0	6.8
佐賀県	出生総数	7,819	7,518	7,640	7,613	7,440	7,276	7,159	7,064	6,811	6,743	6,535	6,231	6,004
	出生率	9.2	8.9	9	9.0	8.9	8.7	8.6	8.5	8.3	8.2	8.0	7.7	7.5
伊万里市	出生総数	531	560	583	561	547	569	524	486	485	486	435	401	371
	出生率	9.3	9.8	10.3	9.9	9.7	10.2	9.4	8.9	8.9	8.6	8.1	7.6	7.1
有田町	出生総数	158	176	171	202	171	166	146	152	145	143	106	119	113
	出生率	7.5	8.4	8.2	9.7	8.3	8.2	7.3	7.6	7.3	7.3	5.5	6.2	6

# 2. 低体重児出生率の年次推移



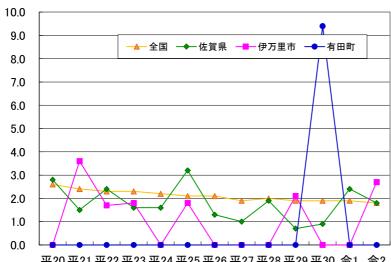
平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30 令1 令2

# 低体重児(2500g未満)出生数及び低体重児出生率(%)

			質料 佐賀県保健統計牛報(人口期態統計編)											
	西暦	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
町村名	データ	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2
全国	低体重児出生数	104,479	102,671	103,049	100,378	99,311	98,624	95,768	95,206	92,082	89,353	86,269	81,462	77,539
	低体重児出生率	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	9.5	9.5	9.4	9.4	9.4	9.4	9.2
佐賀県	低体重児出生数	755	677	749	693	676	707	675	645	638	657	582	578	546
	低体重児出生率	9.7	9.0	9.8	9.1	9.1	9.7	9.4	9.1	9.4	8.9	8.9	9.3	9.1
伊万里市	低体重児出生数	49	38	58	45	44	53	57	43	54	47	40	39	42
	低体重児出生率	9.2	6.8	9.9	8.0	8.0	9.3	10.9	8.8	11.1	9.2	11.2	9.7	11.3
有田町	低体重児出生数	13	23	22	15	16	15	14	7	16	16	15	8	18
	低体重児出生率	8.2	13.1	12.9	7.4	9.4	9.0	9.6	4.6	11.0	14.2	11.1	6.7	15.9

# ● 母子保健統計

# 3. 乳児死亡率の年次推移



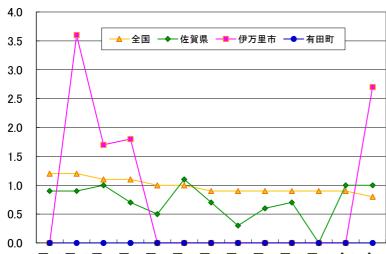
平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30 令1 令2

#### 乳児死亡数及び乳児死亡率(出生千対)

資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

					<u> </u>	2 ( )   ( )   ( )			A CHANGE LAND					
	西暦	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
町村名	データ	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2
全国	乳児死亡数	2,798	2,556	2,450	2,463	2,299	2,185	2,080	1,916	1,928	1,761	1,748	1,654	1,512
	乳児死亡率	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8
佐賀県	乳児死亡数	22	11	18	12	12	23	9	7	13	11	6	15	11
	乳児死亡率	2.8	1.5	2.4	1.6	1.6	3.2	1.3	1.0	1.9	0.7	0.9	2.4	1.8
伊万里市	乳児死亡数	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	乳児死亡率	0.0	3.6	1.7	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.7
有田町	乳児死亡数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	乳児死亡率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0

#### 4. 新生児死亡率の年次推移



平20平21平22平23平24平25平26平27平28平29平30 令1 令2

#### 新生児死亡数及び新生児死亡率(出生千対)

	資料 佐賀県保健統計牛報(人口期態統計編)													
	西暦	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
町村名	データ	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2
全国	新生児死亡数	1331	1254	1167	1147	1065	1026	952	902	874	832	801	755	704
	新生児死亡率	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8
佐賀県	新生児死亡数	7	7	8	5	4	8	5	2	4	5	0	6	6
	新生児死亡率	0.9	0.9	1.0	0.7	0.5	1.1	0.7	0.3	0.6	0.7	0.0	1.0	1.0
伊万里市	新生児死亡数	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	新生児死亡率	0.0	3.6	1.7	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
有田町	新生児死亡数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新生児死亡率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

# ● 母 子 保 健 統 計

# 5. 周産期死亡率の年次推移



#### 周産期死亡数及び周産期死亡率(出産千対)

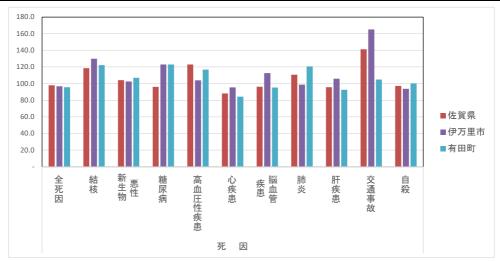
資料 佐賀県保健統計年報(人口動態統計編)

					貝科 1生	貝宗休健	枕訂午報	八人口判	悲扰计桶	)				
	西暦	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
町村名	データ	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2
全国	周産期死亡総数	4,720	4,519	4,515	4,315	4,133	3,862	3,750	3,728	3,516	3,308	2,999	2,955	2,664
	周産期死亡率	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.3	3.4	3.2
佐賀県	周産期死亡総数	28	24	35	34	18	28	26	24	17	22	12	21	25
	周産期死亡率	3.6	3.2	4.6	4.4	2.4	3.8	3.6	3.4	2.5	3.3	1.8	3.4	4.2
伊万里市	周産期死亡総数	4	1	3	2	0	1	2	1	2	4	1	1	3
	周産期死亡率	7.5	1.8	5.1	3.6	0.0	1.8	3.8	2.1	4.1	8.5	2.3	2.5	8
有田町	周産期死亡総数	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1
	周産期死亡率	0.0	5.6	5.8	0.0	0.0	0.0	13.5	6.5	0.0	0.0	0.0	8.3	8.8

#### ● 主要死因別標準化死亡比(SMR)

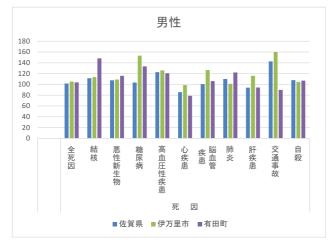
# 1 主要死因別 標準化死亡比(平成22年~令和2年)

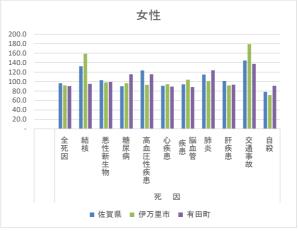
総数							資料	4:佐賀県保	<b>健統計報</b>	告(人口動態	<b>態統計編</b> )
						死 因					
	全死因	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	肝疾患	交通事故	自殺
佐賀県	98.0	118.5	104.2	95.9	123.0	88.2	96.2	110.7	95.7	141.4	97.1
管 内	96.4	127.8	103.8	123.0	107.5	92.5	107.8	104.7	102.2	148.7	95.5
伊万里市	96.8	129.9	102.6	123.0	104.0	95.5	112.6	98.7	105.9	165.2	93.7
有田町	95.5	122.3	106.9	122.9	116.9	84.4	95.2	120.7	92.7	105.0	100.4



男性		平成22年~令和2年													
						死 因									
	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性 疾患	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	肝疾患	交通事故	自殺				
佐賀県	101.6	101.6 111.6 107.6 103.4 122.7 85.8 100.5 110.1 94.1 142.7 108.1													
管内	104.8	104.8 123.2 111.1 147.7 124.6 93.2 121.0 106.9 110.1 141.3 105.5													
伊万里市	105.1	113.6	109.2	153.2	126.1	98.7	126.7	101.0	116.2	160.3	104.9				
有田町	103.8	148.3	116.0	133.3	120.7	79.0	106.1	122.2	94.2	89.9	107.1				

女 性										平成22年~	~令和2年
						死 因					
	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性 疾患	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	肝疾患	交通事故	自殺
佐賀県	96.5	132.5	102.9	90.2	123.8	91.2	94.3	114.8	101.3	144.7	78.2
管内	91.5	141.5	98.4	101.7	99.3	93.2	99.7	107.3	92.3	167.5	76.9
伊万里市	91.9	158.6	98.1	96.5	93.2	94.6	104.0	101.1	91.9	179.1	71.6
有田町	90.5	95.2	99.3	115.6	115.5	89.5	88.4	124.0	93.5	137.3	91.1





#### 2 悪性新生物部位別 標準化死亡比(平成22年~令和2年)

資料:佐賀県保健統計年表(人口動態統計編) 悪性新生物(部位別) 直腸S状結腸 移行部及び直 腸 肝及び 肝内胆管 気管、気管 支及び肺 食道 膵臓 乳房 子宮 白血病 その他 佐賀県 103.0 92.2 144.4 97.6 101.9 106.2 132.8 102.4 81.4 98.8 管内 86.8 102.7 94.3 126.8 99.1 96.1 97.9 114.2 161.7 103.5 伊万里市 95.9 103.3 89.4 118.1 97.0 93.8 102.3 103.3 151.2 104.2 有田町 63.2 101.1 107.2 149.6 104.6 102.2 86.3 143.0 189.0 101.7

※子宮の悪性新生物は女子人口10万対の率。 200.0 180.0 140.0 120.0 100.0 ■佐賀県 60.0 ■伊万里市 40.0 ■有田町 20.0 肝内胆管 肝及び 白血病 子宮 直腸の状結腸移行部及び直腸 気管、気管支及び肺

男性									平成22年	年~令和2年
					悪性新生物	勿(部位別)				
	食道	胃	直腸S状結 腸移行部及び 直腸	肝及び肝内 胆管	膵臓	気管、気管 支及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
佐賀県	86. 2	106. 9	92. 1	145. 6	102. 1	103. 3	104. 7		142.8	105. 2
管内	96. 6	118. 6	79. 7	126. 6	119. 6	101.8	-		185. 5	109. 8
伊万里市	107. 0	120. 7	73. 4	114. 0	118. 2	98. 4	-		182. 6	109. 1
有田町	69. 7	113. 4	96. 2	159. 2	123. 2	110.7	-		193. 1	111. 9

女性									平成22	年~令和2年
					悪性新生物	勿(部位別)				
	食道	胃	直腸S状結 腸移行部及び 直腸	肝及び肝内 胆管	膵臓	気管、気管 支及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
佐賀県	72. 5	101. 5	95. 6	148. 8	97. 0	92. 1	99. 2	106. 2	123. 2	102. 1
管内	57. 9	82. 5	119. 6	133. 4	81. 7	92. 0	96. 4	114. 2	135. 4	99. 9
伊万里市	62. 2	80. 9	116. 2	130. 1	78. 9	91. 9	101. 0	103. 3	114. 3	102. 3
有田町	46. 5	86. 7	128. 3	141. 9	89. 2	92. 2	84. 4	143.0	190. 5	93. 4

